



福幸きらり商店街跡地 利活用事業検討結果報告

福幸きらり商店街跡地利活用事業検討委員会

令和4年3月29日



【委員会報告書 本編】

1. 委員会設置の狙い	・・・ 03
(1) 前提条件の整理	・・・ 03
(2) 検討委員会の概要	・・・ 05
(3) 開催日程と各委員会のテーマ	・・・ 07
2. 各委員会の内容	・・・ 08
(1) 第一回委員会「前提条件の整理」	・・・ 08
(2) 第二回委員会「住民アンケート結果検討」	・・・ 11
(3) 第三回委員会「重点分野の決定」	・・・ 17
(4) オンライン視察会	・・・ 25
(5) 第四回委員会「周辺類似施設調査」	・・・ 31
(6) 第五回委員会「二段階開発の可能性検討」	・・・ 42
3. 今後の方向性	・・・ 49
(1) 二段階開発の方向性	・・・ 49
(2) 第一段階のアイデア提案	・・・ 50
(3) 第二段階の実施内容	・・・ 51

【別添】 参考資料 委員会名簿

1. 委員会設置の狙い (1) 前提条件の整理

- これまで、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町では福幸きりり商店街が復興において大きな役割を果たしました。
- 現在では店舗の移転が進み、その跡地は地域の新たな拠点としての役割を期待されています。



- 1 大槌IC付近は町の計画で**文教拠点**として位置づけられている
- 2 跡地周辺には商業施設も隣接しており、**地域の方々の商業拠点**である
- 3 大槌IC開設 = 県内外のアクセス拠点化により、**交流人口の増大**が期待できる

i. 商店街設置の経緯

平成23年12月

福幸きりり商店街は、東日本大震災で被災した大槌町の商業を再生する目的で大槌北小学校跡地に仮設商店街として40 区画整備された。これまで復興拠点として地域の方々が利用し、地域に多大なる貢献をしてきた。

平成29年

町方地区等の区画整理事業用地の引き渡しが始まったことから、各店舗の本設移転が徐々に開始された。

令和元年

商店街の跡地利用に関して本格的な検討を開始。
経済性を重視した「道の駅の可能性診断」を実施。

令和2年3月

全ての商店の移転または撤収が完了
11月
第1回「福幸きりり商店街跡地利活用事業検討委員会」開催

1. 委員会設置の狙い (1) 前提条件の整理

- 今後の福幸きり商店街跡地の利活用については、「経済性・収益性」と「社会性・文化性」の2つの視点を両立させた利活用手法の検討が必要となります。

福幸きり商店街跡地検討 のポイント

福幸きり商店街跡地においては、「経済性・収益性」と「社会性・文化性」の両観点から、方向性を検討する必要性があります。

1つ目の「経済性・収益性」については、地域の産業振興に加え、施設の運営原資とする観点から重要な視点となります。

2つ目の「社会性・文化性」については、地域社会の発展の観点から公共的な役割を果たすことが期待されるため、地域課題を解決するような機能の検討が必要となります。

ポイント1 経済性・収益性を持つ機能

- ・物販機能（直売、一般物販）
- ・飲食機能（飲食、カフェ）
- ・観光機能（体験、見学）
- ・開発機能（商品開発）
- ・サービス提供機能（体験）



ポイント2 社会性・文化性を持つ機能

- ・子ども子育て機能
- ・スポーツ振興機能
- ・地域コミュニティ創出機能
- ・福祉機能
- ・文化・芸能振興機能



両立



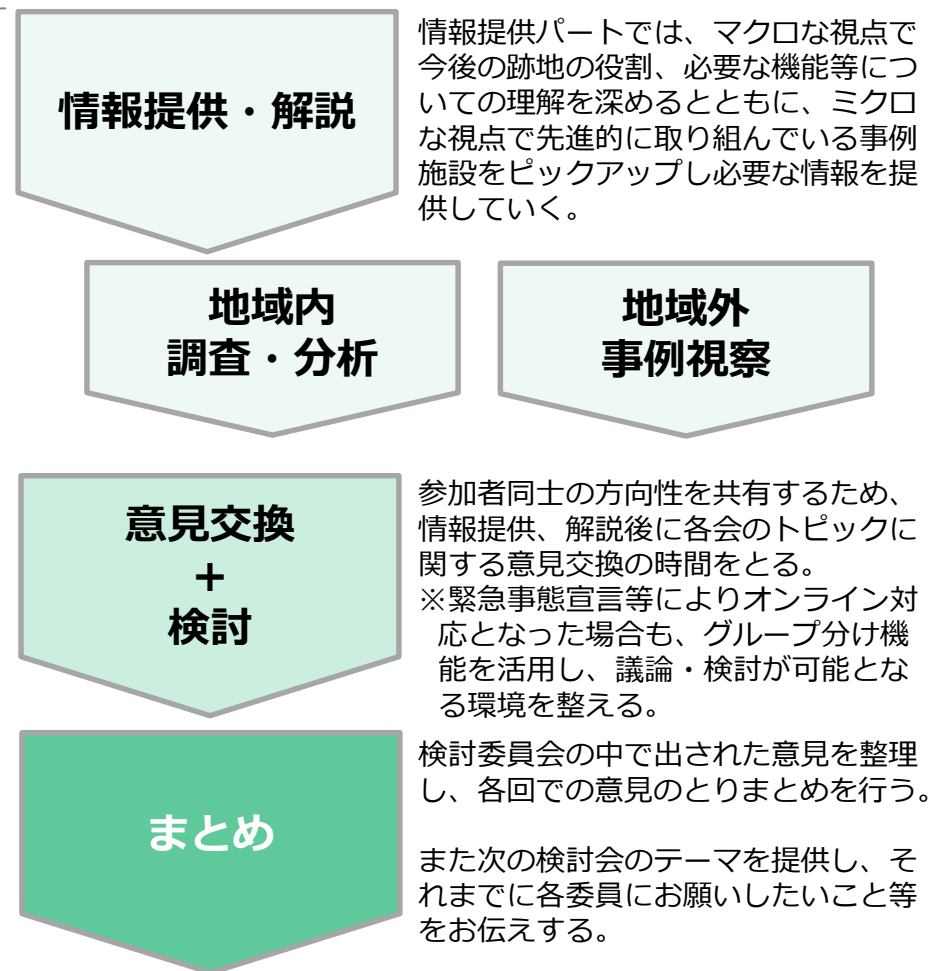
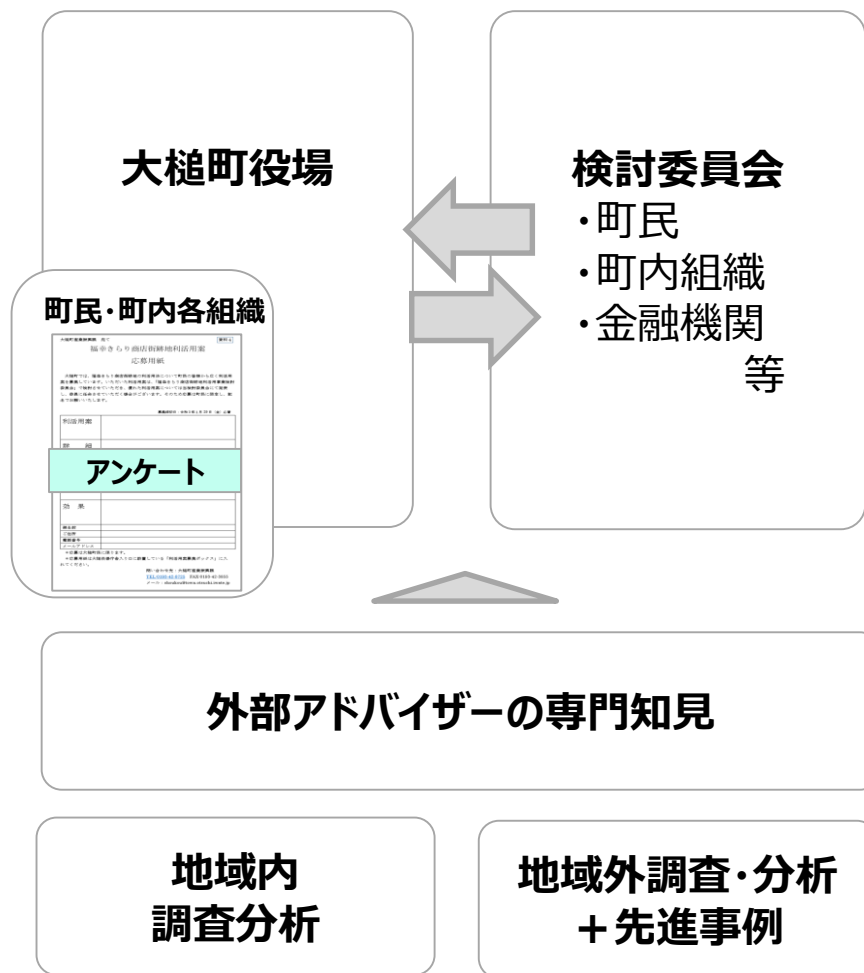


1. 委員会設置の狙い (2) 検討委員会の概要

- 検討委員会は大槌町民、町内組織、金融機関等到大槌町が加わり組織されました。
- 主な目的は、商店街跡地の利活用方針を検討することにあります。
- 検討委員会では大槌町役場と外部アドバイザーが検討委員会をサポートしながら協議を進行しました。
- 検討委員会では、情報として地域内の情報の調査・分析結果、及び 地域外の先進事例の視察を行いました。

■ 検討委員会スキーム

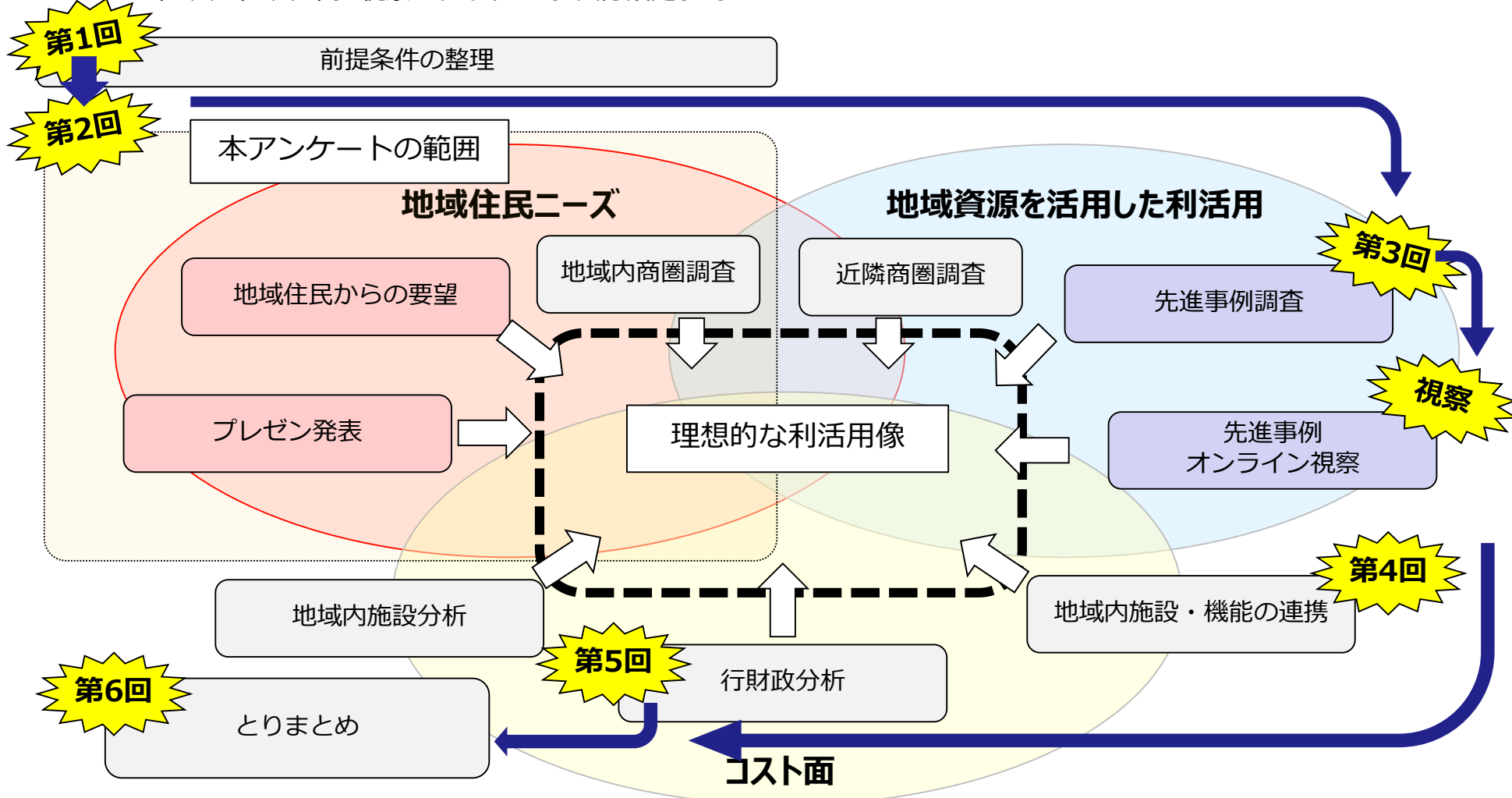
■ 検討委員会の検討フロー





1. 委員会設置の狙い (2) 検討委員会の概要

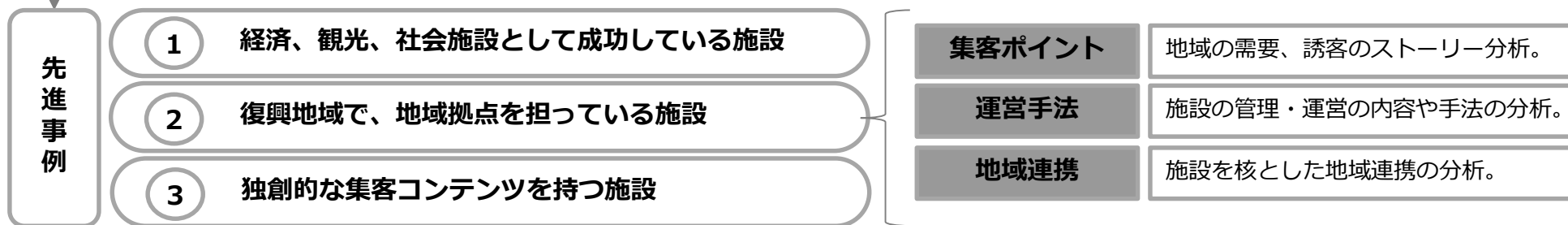
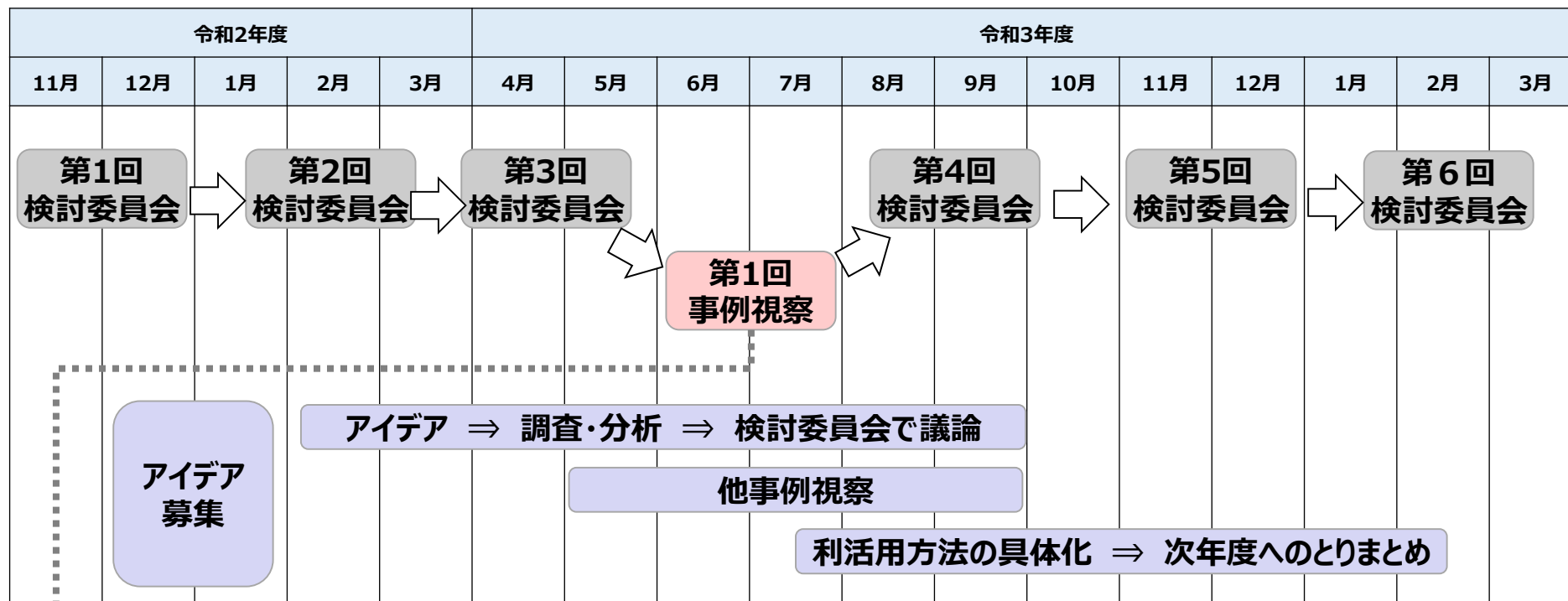
- 今後の利活用策を検討は、全6回の検討会、及び1回の視察で構成しました。
- 第2回目の検討委員会では、アンケート結果分析を中心に地域の方々のニーズから利活用策を整理し、第3回目地域資源を活用した利活用策がないかを考えていくとともに、第4回、第5回で利活用策として継続・維持していくためには、どれくらいのコストがかかるのかについて考えていく設計としました。
- また第3回と第4回の間に視察をオンラインにて1回分設定しました。





1. 委員会設置の狙い (3) 開催日程と各委員会のテーマ

- 委員会の具体的な日程は令和2年11月から令和3年2月までを設定しました。
- 委員会そのものは四半期に1回程度の開催頻度とし、令和3年度6月にコロナ禍を鑑みたオンライン視察会を設定しました。





2. 各委員会の内容 (1) 第1回検討委員会 会議概要

- 第1回 検討委員会では、キックオフの会として跡地利活用むけて様々な分野において知見を持つ委員を相互に紹介するとともに、跡地利活用の現状の共有、及び今後に向けてのアイデア募集を行う点が確認されました。

開催日時	令和2年 11月12日 木曜日 16:00～17:30
開催場所	大槌町役場 3 階大会議室
テーマ	検討委員会キックオフ
検討内容	(1) 町長からのご挨拶 (2) 各委員の紹介 (3) 跡地利活用の現状 (4) アイデア募集のお知らせ (5) 次回検討会の予定
	
検討結果	1. 各分野において知見のある検討委員の決定 2. 跡地利活用の現状についての理解 3. 各分野からのアイデアの発言といくつかのアイデアの具体化 4. 次回以降の検討会についての意見集約



2. 各委員会の内容 (1) 第1回検討委員会

- さらに各分野において知見を持つ委員に対して、利活用のアイデアを募集する旨が確認されました。
- あわせて各委員からは現段階のアイデアが寄せられ、今後は住民アンケートを基本としながら検討を行う旨が決定されました。

アイデア募集のお知らせ

大槌町産業振興課 宛て

資料4

福幸きらり商店街跡地利活用品 応募用紙

大槌町では、福幸きらり商店街跡地の利活用法について町民の皆様から広く利活用案を募集しています。いただいた利活用案は、「福幸きらり商店街跡地利活用事業検討委員会」で検討させていただき、優れた利活用案については当該検討委員会にて発表し、委員に任命させていただく場合がございます。そのため応募は町民に限定し、記名でお願いいたします。

募集締切日：令和3年1月29日（金）必着

利活用品案	
詳細	利活用品案の詳細、理由、想定利用者、運営方法等をご記入ください。
効果	
御名前	
ご住所	
電話番号	
メールアドレス	

* 応募は大槌町民に限ります。

* 応募用紙は大槌役場庁舎入り口に設置している「利活用品案募集ボックス」に入れてください。

問い合わせ先：大槌町産業振興課

TEL-0193-42-8725 FAX-0193-42-3855

メール：shoukou@town.otsuchi.iwate.jp

【ステップ1】 住民アンケートからの回答分析

【ステップ2】 住民アンケート 分析結果を 踏まえたうえでの 委員会内での検討

【ステップ3】 委員を中心とした 利活用アイデア の発表

【ステップ4】 住民希望の理解と 方向性の決定



2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会 会議概要

- 第2回 検討委員会では、第1回で周知された住民アンケートの分析結果が共有され、また委員から「子育て」「郷土芸能」の2つのアイデアが発表されました。

開催日時	令和3年 2月12日 木曜日 16:00~17:30
開催場所	大槌町役場 3階大会議室
テーマ	住民アンケート結果確認 と 委員アイデアの発表
検討内容	(1) 事業スケジュール詳細 (2) アンケート結果分析・事例紹介 (3) 子供向け施策・郷土芸能施策 発表・質疑 ① おおつち遊び場プロジェクト ② 大槌町郷土芸能団体連合会 (4) 意見交換会
検討結果	1. 住民が特に重視するテーマ及び具体的なアイデアの共有 2. 委員から発案された「子育て」、「郷土芸能」アイデアの共有 3. 次回に向けた委員によるテーマ評価の実施の決定



2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会

- 大槌町の福幸きらり商店街跡地の利活用のアンケートは12月初旬から1月下旬にかけて実施され、合計141件を回収しました。

調査目的	■ 大槌町の福幸きらり商店街跡地の利活用について、広く町民から意見を伺い、ニーズの高い機能を把握する。
調査手法	■ 役場、おしゃっちでのアンケートボックス設置と回収 ■ インターネットアンケートを活用した回収 ■ メール・ファックスでの回収
調査期間	■ 調査票配布・回収 : 令和2年12月10日～令和3年1月29日 ■ 集計・分析 : 令和3年2月1日～2月10日
回答いただいた方の 主な所属先	■ 子供・子育て施設関連 ■ 金融関連 ■ 行政関連 ■ 商工・産業団体関連 ■ 農林水産業関連 ※回収 全141件
アンケート項目	■ 回答者の所属（主な所属先） ■ 利活用案 ■ 運営方法
調査体制	■ 大槌町役場にて、配布・回収。 ■ 集計、分析は株式会社 船井総合研究所にて実施。



2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会

- アンケートの分析結果としては、跡地利活用に対する期待の大きさ、及び3つに集約される施設利活用イメージが明確になりました。
- 一方で、それらの複合構成比や運営については今後の事例研究、視察を踏まえて、深く検討する必要があることが分かりました。

ポイント1. 跡地利活用に対する期待は大きい

- ・ 合計で150近い要望が寄せられており、立地として有望な跡地の利活用に対する期待は大きい。
- ・ 要望は、子供・子育て関連を通じた回答が最も多いものの、産業関連、農林水産関連や一般の窓口への提出も多く、町民全体の関心事になっている点がうかがえる。
- ・ ただし、要望については住民が持つ課題によって多様性があり、提案にばらつきがある。

ポイント2. 利活用提案の分類は3つ。キーワードは「にぎわい」。

- ・ 要望は大きく分けて、子供・子育て関係、産業関係、文化・教育・スポーツ関連の3つに分類される。
- ・ 最も多い要望が、子供・子育て関係であり、中でも突出して多いのが「公園」機能であるが多くの提案が3分類の複合型の提案となっている。
- ・ 一方で、公園を含む多くの提案内容に共通して要望されている機能には「地域内外の人が集える場」としての機能「にぎわい」であることが明確になった。
- ・ 今後はどのような複合が好ましいか、各地域の事例を参考に話を進めていく必要がある。

ポイント3. 運用については知見が少なく、検討委員会でのさらなる検討が必要である。

- ・ 運営方針については、要望に応じて回答が異なる傾向があるが、現段階では町営が最も多くなっている。
- ・ 一方、分からない、と回答した割合が41.8%と最も多かった点からも現段階の構想、及び知見では判断ができない状態であることが明らかになった。
- ・ よって、今後は他の施設の事例なども踏まえて運営方針については細かい検討が必要となる。

第3回
事例研究

第1回
視察

第2回
視察

第4回
第5回
へ

2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会

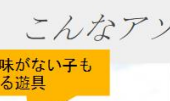
子供向け施策 発表資料（あそび場プロジェクト）

- 子育て関連施の利活用アイデアとして、委員でもある「あそび場プロジェクト様」から発表が行われました。
- 子供たちが自由に遊べる広い空間としての利活用が提案されました。



こどもから高齢者、町内外の人が
多目的に使えるアソビ場
がほしい

あそび場プロジェクト



外遊びに興味がない子ども遊びたくなる遊具



屋根



屋根のかかった半屋外芝生スペース



子どもが自由に道具を使える



登る、滑る、という斜面を利用したシンプルなつくりだと、多世代が使える



屋根



屋根のかかった半屋外芝生スペース



でっかいものが作れる。作ったものが置いておける。

アソビバが無くて困っていること

福祉・子育て

教育

地域コミュニティの形成

世代間交流

孤立孤育て防止

遊べない
・土日は、町外の公園巡り
*補足資料あり!

居場所がない

体験冒険不足

自立心・主体性・創造性を学ぶ場所がない

学童や子供センターも屋内活動がメイン

体力①
運動能力①
肥満児①



みんな、どこで、遊んでる?

現状

- ▶ 2019年の2月に、中学生までの子供がいる町内の世帯と関心のある町民にアンケートを実施（学校、保育園、幼稚園、支援センター、公民館などにて配布、ネットなどでも募集）
- ▶ 231名から回答あり（17名は町外の方からの回答）

現在、大塚町内には子どもが楽しめる公園が少ないという声が上がっています。私たちは、この現状をなんとかしようと、「おうち遊びプロジェクト」を立ち上げた町民のグループです。町内の親御さんや子ども達が、どれくらい困っていて、どのような遊び場を望んでいるのかを調べ、今後、遊び場について考えるためのステップにしたいと思っています。そこをみなさま、

アンケートへの協力をお願いします（2/17 まで）



スマホで回答

QRコードを読み込んで回答してください。





PCで回答

「おうち遊びプロジェクト」のHP上に「おうち遊び」があります。

[おうち遊びのページ](#)



手書きで回答

以下の欄に回答内容を記入しています。
お郵送の準備も、郵送していただけます。
[お名前] 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
[お住所] 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇
[お電話番号] 〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇
[おメールアドレス] 〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇〇〇
[お郵便番号] 〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇

※ 郵送のお手紙をお持ちの方は、1通のみご郵送ください。 ※ 調査票以外の方からのご回答も大歓迎です。 ※ 回答期限は6週間です。

※ アンケートの申請へのご協力。ご意見は03-6308-2330 または03-6308-3699 までご連絡ください。

2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会 大槌郷土芸能団体連合会

- 郷土芸能関連施設の活用アイデアとして、委員でもある「大槌郷土芸能団体連合会様」から発表が行われました。
- 町内各地に点在する団体が芸能を披露する場としての利活用が提案されました。

2. 大槌の郷土芸能

(1) 震災前の郷土芸能

- ・ オラ方の地区の芸能
- ・ 幼少から慣れ親しんだ芸能
- ・ みんなが参加するからオラも



4. 震災支援の来訪者との出会い

○郷土芸能の本質
に気づかされる

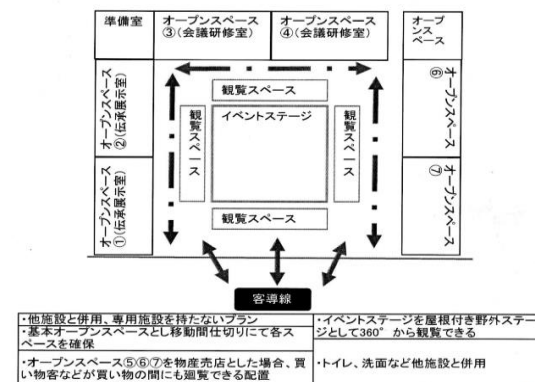
- ・ 多額の復興支援
- ・ 支援御礼を兼ねた町外活動
- ・ 国内外からの来訪者との交流
- ・ 出会いが大きなネットワークに



7. 大槌町郷土芸能伝承館 (仮称) の役割

1. 伝承活動の活性化
2. 町の文化と観光の発信拠点
3. 関係人口の拡大
4. 若者が住みたい、残りたい町の創出

10. 展示・発表ルームの配置 (案)





2. 各委員会の内容 (2) 第2回検討委員会

- 第2回 検討委員会での意見交換会の代表的な意見は以下の通りとなります。(別添 議事録参照)
- 多くの方は、アンケートの分析結果から今度の方向性として「集う」「賑わう」をキーワードにしつつ、テーマを絞っていく方向性が共有され、次回においては各委員の中でそれらを評価したうえで協議に臨む点が確認されました。

【総評】

- アンケートの集計数が多く、それだけ期待感が大きいと感じた。それだけニーズがある、要望があるのだと感じた。
- にぎわう、集う 機能が必要である点はすべてのテーマに共通している。

【子供向け機能】

- 子どもたちが先生と親以外の他世代と交流できる場所があれば良いと思う。
- 遊び場の必要性は認識しており共感する。しかし、市街地に整備しないことへの意見が出てくる可能性があるため、考える必要がある。

【郷土芸能振興】

- 提案された施設「郷土芸能伝承施設」について理解できた。
- 岩手県、そして三陸は郷土芸能の宝庫と言われ、大槌町も20団体が活動している。
- 大槌のお祭り・郷土芸能は、地域密着の芸能、おらどの祭りという地域住民にとって身近な存在であるが、人口減少等により団体によっては維持が難しくなると予想される。
- そのため、点在する団体の特徴を一か所で公開し、町の文化と観光の発信拠点を整備し、町の活性化に貢献するとともに若者の参画を増加するための施設整備は有効だろう。

【産業】

- 今後町としては、交流人口の増加を目指す必要があるため、新しい産業を興す視点を加えるといいのではないかと感じた。道の駅等、その他のアイデアとして交流人口増加、産業創出のテーマについても検討する必要があると感じた。



次回検討会
に向けた総評

アンケートの分析結果をもとに、キーワードの「賑わう」「集う」、
テーマの「子供・子育て」「産業」「文化・教育・スポーツ」の3分野を
軸に複合的な施設事例をコストの視点ともに検討する



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会 会議概要

- 第3回検討委員会においては住民アンケート結果を踏まえたうえでの、各検討委員の意見の集約、特に重視された5分野におけるトレンドと町内での施設充足状況が共有され、今後の方向性が検討されました。

開催日時	令和3年 4月15日 金曜日 15:00～17:00
開催場所	大槌町役場 3階大会議室
テーマ	重点5分野におけるトレンド共有と利活用方向性の検討
検討内容	(1) 前回の振り返り (2) アンケート結果紹介 (3) 各業態 トrend・事例紹介（町内充足状況を含む） (4) 意見交換会 (5) 次回 オンライン 視察会紹介
検討結果	1. 住民アンケート結果を受けての各検討委員意見の集約 2. 住民・検討委員が重視する分野のトレンドの把握 3. 今後の方向性としての「子供子育て機能」、「産業育成機能」重視の決定





2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会 福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果

- 深堀アンケートの結果は以下の通りとなります。
- 圧倒的に支持率の高い機能は公園であり、その他の機能のポイントは50ポイント未満となります。
- ◎がついている機能を含めて検討を進める必要があります。

【資料03】 検討委員会「福幸きらり商店街跡地利活用案の評価リスト 作成」 アンケート結果 一覧

2021/4/15

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
1	子供・子育て	公園（子供の遊び場）	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎	○	76	66.7%
2	文化・教育・スポーツ	スポーツ施設 （温水プール、フットサル、ボルダリング等）	○	×	○	◎	○	○	○	△	×	○	△	◎	44	16.7%
3	産業	物販施設 （道の駅等）	△	△	△	○	◎	×	△	×	◎	△	×	×	30	16.7%
4	産業	カフェ・ファミリーレストラン	△	×	○	△	△	△	△	×	◎	×	○	△	28	8.3%
5	文化・教育・スポーツ	郷土芸能会館	○	×	×	○	×	○	○	×	◎	×	○	×	28	8.3%
6	文化・教育・スポーツ	音楽ホール	○	×	△	△	×	◎	△	×	×	×	×	◎	26	16.7%
7	文化・教育・スポーツ	ドッグラン&動物病院・動物園ふれあいランド	○	×	○	△	×	○	△	△	×	×	○	△	24	0.0%
8	産業	海のラーニングセンター構想	△	△	×	×	×	×	△	△	◎	×	×	×	16	8.3%
9	産業	ショッピングモール・アウトレットモール	△	×	×	○	△	×	×	×	△	×	×	○	14	0.0%
10	産業	市民農園	△	×	△	△	×	○	×	△	×	×	△	×	14	0.0%
11	高齢者	高齢者向けカフェ	△	×	○	△	×	×	△	×	×	×	△	×	12	0.0%
12	その他	駐車場	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	12	0.0%
13	産業	シェアハウス	△	×	○	×	×	×	△	×	×	×	×	△	10	0.0%
14	その他	宅地（土地分譲）	△	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	4	0.0%

採点方法・・・各委員の皆様からの評価に基づき、「◎」を8点、「○」を4点、「△」を2点、「×」を0点として計算。
その他の意見としては、特に高校生の居場所、企業誘致用地、民間売買・町有地、キャンプスポットなどが挙げられた。



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会

福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果 一子供・子育て一

- 公園はアンケートにおいて最も高い評価が得られたテーマとなっています。
- 全体の50%以上の8つの「◎」を付けており、「×」がない点からも公園要素は必要となる可能性が高いと判断されます。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
1	子供・子育て	公園（子供の遊び場）	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎	○	76	66.7%

ポジティブな意見

- ❑ 公園は早急に必要だと思う。鶴住居地区にはどんどん公園が建設され、町民もわざわざ釜石等近隣市町村に行っている。町内に整備する必要性を検証した上なら、◎だろう。
- ❑ 多方面から公園がほしいという声が聞かれる。子どものあそび権利が保証されていない町で、子育てはできないし、移住定住を促進することも難しい。
- ❑ ただの公園広場の整備であれば費用負担も少なく済むと思う。
- ❑ 遊具のある公園が少なく町指定避難所等の高台も近く、検討したい。 他 多数

ネガティブな意見

- ❑ 公園は必要であると思うが、きらり跡地である必要性は無い。
- ❑ 公園そのものに収益性はないので検討が必要だろう。
- ❑ 公園だけだと子供中心のもので終わってしまう懸念があるので、もう少し幅広い年代・地域から人を呼び込める施設（例えばオートキャンプ場などの併設）があれば、公園の付加価値も高められるのではないかな。
- ❑ 野球場・テニスコート・バスケットコート・旧役場庁舎跡地のクローバー公園・おしゃっち・（セブン）、これらと一体でエリアマネジメントすると、若干の遊具を設置するだけで済むような気がする。

ポジティブな意見が多く、高く評価する「◎」が66.7%と多い。
一方で、維持管理運営については、今後のコストを含めて検討を求める声が多い。



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会 福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果 ースポーツー

- スポーツ全般に対する要望は2番目に高い要素となっています。
- 一方で、想定するスポーツは様々であるため、個別の特定のスポーツ競技には絞られていない状態と考えられます。
- ネガティブ意見としては、コストに対する意識が強く、近隣市町村との共用なども提案されています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
2	文化・教育・スポーツ	スポーツ施設 (温水プール、フットサル、ボルダリング等)	○	×	○	◎	○	○	○	△	×	○	△	◎	44	16.7%

ポジティブな意見

- ❑ 予約なしで、気軽に遊びに行けるスポーツ施設がない。特に、屋内型のスポーツ施設がない（体育館はあるが）。大人が夜遅くまで体を動かせる施設と公園を併設するのはあり。子供が遊んでいる間、大人がジムをするなどもあり。
- ❑ "町民の健康向上につながり長寿化によって人口減少にも一定の歯止め効果が期待できる。"
- ❑ 老若男女向けに必要性を感じる。
- ❑ 多目的公園の一部として多くの設備があることに越したことはない。

ネガティブな意見

- ❑ 整備費用・運営経費が問題。利用人数など、整備費用に対する費用対効果が低いと思われる。
- ❑ 予算には限界がある。
- ❑ 温水プールはコスト面に不安があり、当面は釜石市内の施設利用がベストでは。（生徒の教育上必要であれば検討すべき）
- ❑ （公園）とセットで考えたい。安渡や赤浜の施設を規制緩和し、まずは既存施設でできるスポーツを「やりやすく」することが先かな。
- ❑ 必要性が低いと思われる。
- ❑ ただ建設資金、維持管理費のねん出が出来るか？

ポジティブな意見が多いものの、各施設において想定されるスポーツが異なっている。
複数のスポーツを対象とする場合は、整備面積、設備が拡大し、コストが大きくなる可能性が懸念される。



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会

福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果 一産業（物販）一

- 道の駅等物販施設については、第3位の要望の高さになっています。
- 道の駅へのイメージは良いものの、物販を行った場合の既存商業施設への影響を考慮する意見が多く見られます。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
3	産業	物販施設 (道の駅等)	△	△	△	○	◎	×	△	×	◎	△	×	×	30	16.7%

ポジティブな意見

- 公園と抱き合わせなら考えられる。
- 特色あるものを打ち出すことでヒットしている道の駅は多く、何か特色あるものを作れるかどうかポイントだと考える。
- 町外からの集客のため必要だろう。
- 24時間トイレは欲しいと思う。
- 道の駅自体は賛成。
- "当該跡地の立地の面から見ても、町内への誘客・交流人口の拡大を図るためにも道の駅は有効であると思う。海産物の産直市場も検討し、「だあすこ」との差別化を図る。

ネガティブな意見

- トイレだけあっても使用しにくいと思う。
- きらり跡地である必要性は無い。
- 売るのがたいしてないので、カフェや他の施設の一角に作る程度なら可能では？釜石のサンフィッシュや仙人峠の道の駅ほどの店舗が入っていても、客は来ないという現実も見つめるべき。
- 誰が経営主体になるかという問題はクリアすべき課題である。
- 町内商業者との競争になる。
- ただし「だあすこ」や「みずかみ」等の近隣施設の運営に影響の無いよう配慮が必要。

一定のポジティブな意見があるものの、既存商業集積への影響を考慮する意見が多い。



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会

福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果 ーカフェ・飲食ー

- 4番目にポイントが高い施設としては、カフェ、レストランが挙げられます。
- ◎は1つながら、×の数が多いと、否定的な意見は少ないと考えられます。
- 一方で、物販・道の駅 同様、大槌らしさがないと難しい点が指摘されています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
4	産業	カフェ・ファミリーレストラン	△	×	○	△	△	△	△	×	◎	×	○	△	28	8.3%

ポジティブな意見

- ❑ 予算があればホール等の中に小さなカフェがあれば嬉しい。
- ❑ カフェ・飲食を望む声は多い。
- ❑ 道の駅に併設する形であれば、大型カフェ、ファミリーレストランの誘致も可能か。
- ❑ あればいいなと思います。

ネガティブな意見

- ❑ 類似施設があるため、大型店にはこだわらず他分野施設との複合施設ではどうか。
- ❑ お客様が来ないと思います。来たとして、何のメリットがあるか不明です。
- ❑ 地元商店は疲弊する、若者がデートに使うとは思えない、観光客がわざわざどこにでもある店に行くはずもないと思います。
- ❑ 出店してくれるところがあるかどうかでしょう。
- ❑ 飲食店も「岩手県にないもの」でなければ厳しいと思う。

比較的ポイントは高いものの、◎は少なく、できれば欲しい、という補足的な意見が多い。



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会

福幸きらり商店街跡地利活用 各委員アンケート結果 ー郷土芸能ー

- アンケート結果から、「郷土芸能会館」に対する意見を見ると、文化伝承の役割を果たすうえで一定の賛同意見が上がっています。
- ポジティブな意見の中では、公園や道の駅等、現在検討施策として挙がるほかの機能と併設することで集客に寄与するとの声があがっています。一方、ネガティブな意見の中には、既存の活動拠点も複数存在することから、ハード面だけでなくソフト面でのファンづくり、またそのファンやサポーターを組織し、観光的な側面で収入を得ることで組織活動の維持を目指すべきとの意見もあがっています。

No.	分類	施策名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計 ポイント	◎率
5	文化・教育・スポーツ	郷土芸能会館	○	×	×	○	×	○	○	×	◎	×	○	×	28	8.3%

ポジティブな意見

- ❑ 公園も含めて一つに絞るのではなく、複合施設等か
け合わせの方が使い勝手が良いと思う。
- ❑ 必要性は感じる。
- ❑ 多目的音楽ホールと共存しても良いと思います。
- ❑ コスト面の不安が解消できれば他部門施設との複合
施設で評価は○。
- ❑ 道の駅に併設する形であれば、必要である。
- ❑ 週末の定期公演等があれば集客も期待できる。
- ❑ 駐車場・トイレ脇に設置すれば観光PRになるとは思
います。

ネガティブな意見

- ❑ 稼働率が課題。専用であるほどの需要が見込めない。
ソフト事業で伝承・承継する事業を行うことで、盛り
上げていく必要がある。
- ❑ あまり必要性を感じない。
- ❑ ソフト展開すべき。一度切りの見学より、賛助会員や
遠方サポーターとか、何でも良いのでそれぞれの団体
がファンを囲い込み、何度も訪れる仕掛けづくりを。
- ❑ 建設資金、維持管理費のねん出が出来るかどうか。
- ❑ 大槌の郷土芸能は1年に1度あるから「価値」がわか
り、伝承していけるのではないか。

地域の伝統文化としてのニーズは高い。一方で、単独での運営は難しいことから、現在検討している機能と
組み合わせることで集客や利用者の満足度向上につながり、観光的な側面を期待されている



2. 各委員会の内容 (3) 第3回検討委員会 意見交換会

- 第3回 検討委員会での意見交換会の代表的な意見は以下の通りとなります。(別添 議事録参照)
- 第3回では、住民アンケート結果を基礎としつつ、さらに産業、子育て、文化等の5分野について絞り込みが行われました。
- また検討・協議の結果、次回以降は特に子育て、産業面について特化しつつ、利活用の具体化のイメージを協議することが決定しました。

【検討委員からの主要な意見】

- 跡地は周辺に文教施設にあり子供が集まりやすい立地であること、高台も近いこと、安心に多世代が集える立地であることを含め、集える場所を整備していければと考える。
- 交流人口の増加、流失人口の減少などの町の課題の解決も含めて活用方法をさまざまな人、組織を巻き込んで検討していきと考えている。
- 【産業】跡地はICの近くであり、観光地を呼び込める立地であるため、道の駅を整備する場合、大槌町に人をよび、交流人口を増やすことを中心に考えていきたい。物販やカフェ、情報発信機能等を含め、人がよりいたいと思う複合施設の形式で整備することが望ましい。
- 【子育て】子供たちの将来を考え、立地、コスト面や文化面などさまざまな視点をふまえるとどのような施設機能が最適なのか、迷いがでてきた。
- 【産業】高速道路利用者に大槌町で降りてもらうためには、様々な機能がある複合施設があればいいかと思い、周辺施設と連携して一体的に売り出したらいいのではないかと感じた。
- 【その他】公園の整備は必要だが、整備地は町中がいいのか、跡地が適切なのか考えなければいけない。将来、別のニーズが生まれる可能性もあるため、箱物を整備するのは少し先延ばしにしてもいいのではないかと感じる。
- 【その他】将来を考えると、子育てしやすい町を目指し育てやすい環境の整備は必要だと考える。ただ、観光の面を見ると道の駅を整備し、収益があまり上がらなくても運営可能な施設を整備する必要性もあると感じている。



次回検討会
に向けた総評

町全体の土地活用状況、今後整備される施設等、
町を俯瞰した視点で検討していく必要があるため、次回はさらに踏み込み
具体的な題材をもとに検討を行っていく



2. 各委員会の内容 (4) オンライン視察会 会議次第

① 視察先概要 一道の駅みのぶー

- 第3回と第4回の検討会の合間にはオンライン視察会が設定されました。
- オンライン視察会では、特に「子供が集う」場所をテーマとして、山梨県身延町の道の駅「道の駅みのぶ」を対象にオンライン視察会を実施しました。

開催日時	令和3年 6月14日 月曜日 15:00～17:00
開催場所	大槌町役場 3階大会議室
テーマ	山梨県 身延町 道の駅「道の駅 みのぶ」 オンライン視察会
検討内容	(1) 視察会の概要説明 (2) 視察対象施設 「道の駅 みのぶ」 ① 視察先の概要 ② 施設案内 ③ 駅長インタビュー ④ 質疑応答 (3) 意見交換会（ゾーニング案を含む）
検討結果	1. 道の駅の特性の理解 2. 公園機能を有する道の駅の経営ポイント 3. 人が「集う」「賑わう」ためのキラーコンテンツの必要性

- 道の駅みのぶは山梨県が所有する、山梨県南巨摩郡の6町村の振興を目的とする公園併設型道の駅です。
- 運営会社は、株式会社かいすたとなっており、平成27年度に大幅リニューアルが行われています。
- 公園機能を核とする道の駅で、伝統工芸品を中心に体験機能や物販機能を併設している複合型の施設として特徴があります。

施設イメージ

[illegible]



2. 各委員会の内容 (4) オンライン視察会

②視察先概要 一道の駅みのぶー

- 広大な敷地面積は本町の構想とは異なりますが、小規模人口地区に存在し、高速道路と隣接し、さらに公園を中心とする点は共通すると考えられます。

INFORMATION

- 年中無休 ■ 入園無料 ※一部施設を除く
- 駐車場
小型車556台(内身障者用3台)、大型車11台 ※駐車料金無料
- 注意事項
園内へは自転車、オートバイ、ボート等の乗り入れはできません。(駐車場除く)
園内でのラジオ、ドローン等の使用はできません。
園内でのたき火や花火、火気類の使用はできません。
園内での犬(ペット)の散歩は、全ての芝生内立入禁止です。
園内にゴミ箱はありません。ゴミのお持ち帰りをお願いします。
園内のすべての植物の採取は禁止です。



□電車をご利用の場合

【東京・長野方面から】
JR甲信越にてJR身延線に乗り換え。
下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分

【関西方面から】
新幹線静岡駅にてJR身延線に乗り換え。
「特急ワイドビューふじかわ」に乗り換え。
下部温泉駅下車、タクシー利用で約5分

□お車をご利用の場合

【中央道・甲府南ICから】 約50分
【中部横断道・下部温泉早川ICから】 約5分
【中央道・河口湖ICから】 約60分
【中部横断道・南部ICから】 約20分
国道52号線身延町下山
「上沢交差点」より約800m

山梨県富士川クラフトパーク

〒409-2522 山梨県南都留郡身延町下山1597
TEL 0556-62-5545 FAX 0556-62-4115
<https://www.kinonomori.jp/>



AREA MAP

1日中楽しめる! 大規模公園!!

広さはなんと東京ドーム11個分



園内案内パークカート

公園スタッフが運転。園内周遊ルート約3kmをゆっくりとご案内
運行日 3月下旬～11月下旬の土・日・祝日
運行時間 9時30分～16時30分(最終便16時発)
周遊時間 約30分
料金 周遊チケット1人300円 ※3歳未満無料(保護者同乗)

バーベキュー場

大自然の中でBBQ

完全予約制

■利用期間 4月1日～11月30日
■利用時間 10時～15時
■定休日 水曜日・木曜日(祝日の場合は翌日)
■ご予約 ☎ 0556-62-5545
※予約は前日の16時まで
※バーベキュー用品レンタルあり ¥2,000～

カヌー場

水の上を滑るような爽快感

10名以上の団体は要予約

■利用期間 4月1日～11月30日
■利用時間 9時～17時 ※最終受付は16時
■定休日 水曜日(祝日の場合は翌日)
■料金 一般470円～高校生350円～中学生以下290円～
■お問い合わせ ☎ 0556-62-5370

テニスコート

レクリエーション用テニスコート

完全予約制

■利用時間 10時～16時(取組1組2時間)
■定休日 水曜日・GW・年末年始・他
■ご予約 ☎ 0556-62-5545
※予約は前日の16時まで

ドッグラン

自然の傾斜を生かしたドッグラン

利用登録制

■利用時間 10時～16時
■定休日 12月28日～1月3日
■利用登録について
●受付場所:公園管理事務所 ●受付時間:10時～16時
●登録費:①身分証明書の写し ②犬鑑別証 ③犬の飼い主の住所
④結合ワクチン3種以上接種証明書



2. 各委員会の内容 (4) オンライン視察会

③公園機能を有する道の駅の事例

- 道の駅で公園機能を有する施設として前頁15事例からさらに5事例をピックアップし、調査を行いました。

No	施設名	住所	規模	ターゲット	立地	物販 飲食	公園のみ (㎡)	広場	遊具	ステージ
1	道の駅 しらとりの郷・羽曳野	大阪府	大	足元	都市郊外	強い	13,000	○	○	×
6	道の駅 いちごの里よしみ	埼玉県	中	足元 観光	都市郊外	強い	3,700	○	○	×
14	道の駅 季楽里あさひ	千葉県	中	足元 観光	都市郊外	強い	2,100	○	○	○
7	道の駅 湖畔の里福富	広島県	大	足元 観光	地方拠点	弱い	12,000	○	◎	多目的ホール
3	道の駅 月夜野矢瀬 親水公園	群馬県	大	足元 観光	地方拠点	弱い	5,000	○	△	×



2. 各委員会の内容 (4) オンライン視察会

③公園機能を有する道の駅の事例

- オンライン事例、及び 5事例からいえることは、ほとんどの公園は、
 1. ターゲットは、低学年＋未就学児＋ファミリーである
 2. 広い空間を広場として活用、テント利用などが多い（デイキャンプに近い）
 3. 通常遊具に加えて、キラーコンテンツとしてふわふわドーム等を整備しているの3点を特徴としている点であることが明確になりました。

**ターゲットは
低学年＋未就学児
ファミリー層**

- ・今回の事例で取り上げた公園＋道の駅では、その多くが限られた公園面積を活用するためにターゲットを特化している。
- ・その多くが、未就学児＋低学年のファミリー層であり、彼らが多様な使い方ができるように整備を行っている。
- ・高年齢の学年もサブターゲットとなり結果として来場しているケースが多い。

芝生広場を持つ

- ・どの事例も芝生広場を持ち、子供たちや家族連れで楽しめるスペースを確保している。
- ・芝生の使用法は、各地域によって異なるが、比較的多い使用方法としては、テント等を持ち込んでデイキャンプ感覚で長い時間を楽しむことである。
- ・特に、土日・祝日等はテントを広げ、BBQやピクニック等を楽しめる場と下の活用が多い。
- ・施設機能としてもBBQ場を併設しているところも複数みられる。

**キラーコンテンツを持つ
(一部文化ステージあり)**

- ・どの事例も遊具エリアがあり、低学年から未就学児までが楽しめるコンテンツを充実させている。
- ・中でもふわふわドームは絶大な人気を誇っており、キラーコンテンツとなっている。
- ・一部の施設では、健康遊具として大人でも利用できる遊具を備えている。
- ・また一部の公園では、ステージなども備えており、イベントへの対応も可能である。
- ・広場との仕切り（防球ネット）等はなく、基本的にボール遊びが出来ない。



2. 各委員会の内容 (4) オンライン視察会 意見交換会

- オンライン視察においては、道の駅みのぶにおいて集客コンテンツとなっている「ふわふわドーム」や「バラ園」の有効性が確認されました。
- 一方で、広大な面積を道の駅として利用する場合には指定管理料というコストも必要である点が指摘されました。
- 次回は、視察会の結果をふまえ、近隣の道の駅を含む類似施設の整備状況を確認し、協議を継続することが決定されました。

【視察先について】

- ・ 視察先のみなみのぶ、他の事例を見ても、芝生の広場を設けているのはよいと感じた。
- ・ 視察先「道の駅 みのぶ」に関しては、産業施設、資料館などの施設は不要で、公園に特化した施設にするべきだと感じた。
- ・ 現在の案件用地は町民のための施設であり、子どもたち向けのスペースを整備するのが好ましいと感じた。
- ・ 道の駅で物販をするだけのスペース、人力もなく、また、町外向けのキャンプなどのコンテンツに関しては周辺の施設の活用が可能であると考えた。

【跡地利活用について】

- ・ 子供が集う機能を重視するならば、ゾーニングに関しては広場があり学校の校庭以外に幅広い年代の子供たちがボール等で遊べる場所としてよいと感じた。
- ・ 将来的に道の駅にするのであれば、設置条件も考慮しつつ議論していくことが重要だと思える。
- ・ コスト面は考える必要があるが、キラーコンテンツの整備も重要だと思える。キラーコンテンツにはやはり海の街として海の要素を持ってくると良いのではないかと。
- ・ 奥州市のふわふわドームを見に行ったが、集客コンテンツとして流行っていたため、道路沿いに配置し、道路側から見やすくするのも好ましいのではないかと考える。
- ・ アンケートの結果も考慮すると、現在および、将来の子どもたちのためにもあそび場を整備すべきだと感じた。
- ・ ただ、税金や管理も考慮し、負債など負担をかけない施設にしていくことが望ましいと考える。



次回検討会
に向けた総評

協議の結果、周辺において類似の施設整備が進みつつあることを鑑み
オンライン視察2回目として
近隣地域の道の駅を含めた施設開発について調査を行うことが決定された。
次回は、調査結果をもとに協議を行う。



2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会 会議次第

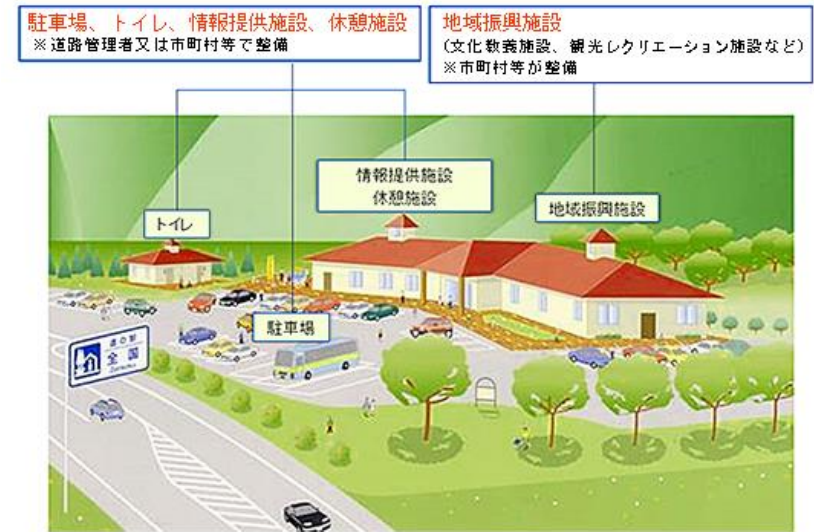
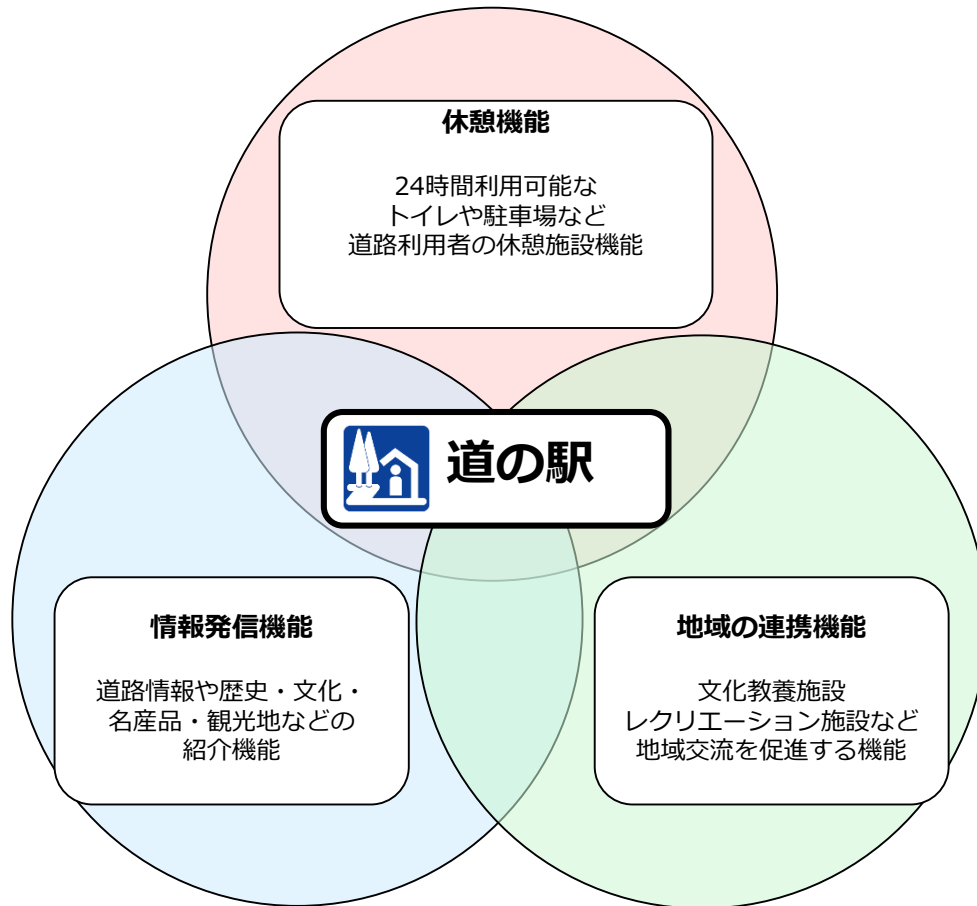
- 第4回検討委員会においては、県内 類似施設の整備・運営状況についての調査・分析結果が共有されました。
- その後、調査・分析結果を踏まえて協議が行われた結果、同種の施設整備と時期をずらしながら整備をおこなっていく「二段階開発」が適切であるという意見が共有されました。

開催日時	令和3年 9月28日 月曜日 14:00～16:00
開催場所	大槌町役場 3 階大会議室
テーマ	県内類似施設 整備状況の共有と今後の方向性の検討
検討内容	(3) 県内 類似施設 運営概況 ① 道の駅とは何か ② 県内道の駅の概況 ③ アンケート結果分析 ④ 最新開発事例解説 5事例 ⑤ 質疑応答 (4) 広場利活用差別化要素 ① インクルーシブ公園事例 ② ICT利活用事例 ③ 食文化利活用事例 (5) 意見交換会（差別化施策を含む）
検討結果	1. 県内の道の駅を含む 施設整備状況について、比較的大型の施設が近年中に整備・開業される点が共有された。 2. 同状況を鑑みた場合、拙速な大型開発は避けるべきであり、開発方針は二段階で行う方が好ましいという意見が共有された。

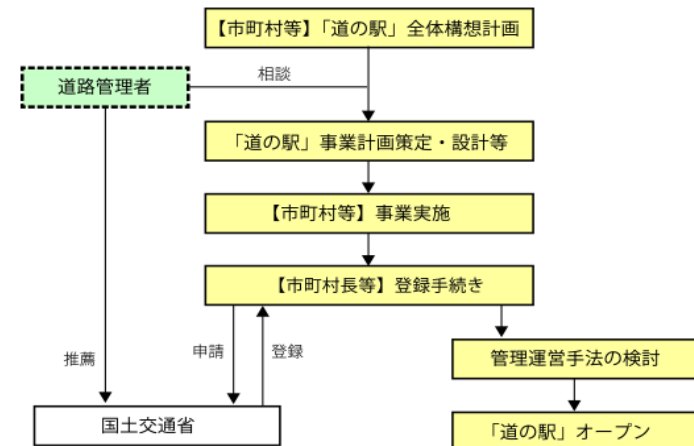
2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 一道の駅とは何かー

- 国土交通省が指定する道の駅は、「情報発信機能」「休憩機能」「地域の連携機能」の3機能を擁する施設です。
- 設置者は地方公共団体もしくは市町村にかわる公的な団体に定められており、市町村・指定管理者・道路局などによって管理されます。



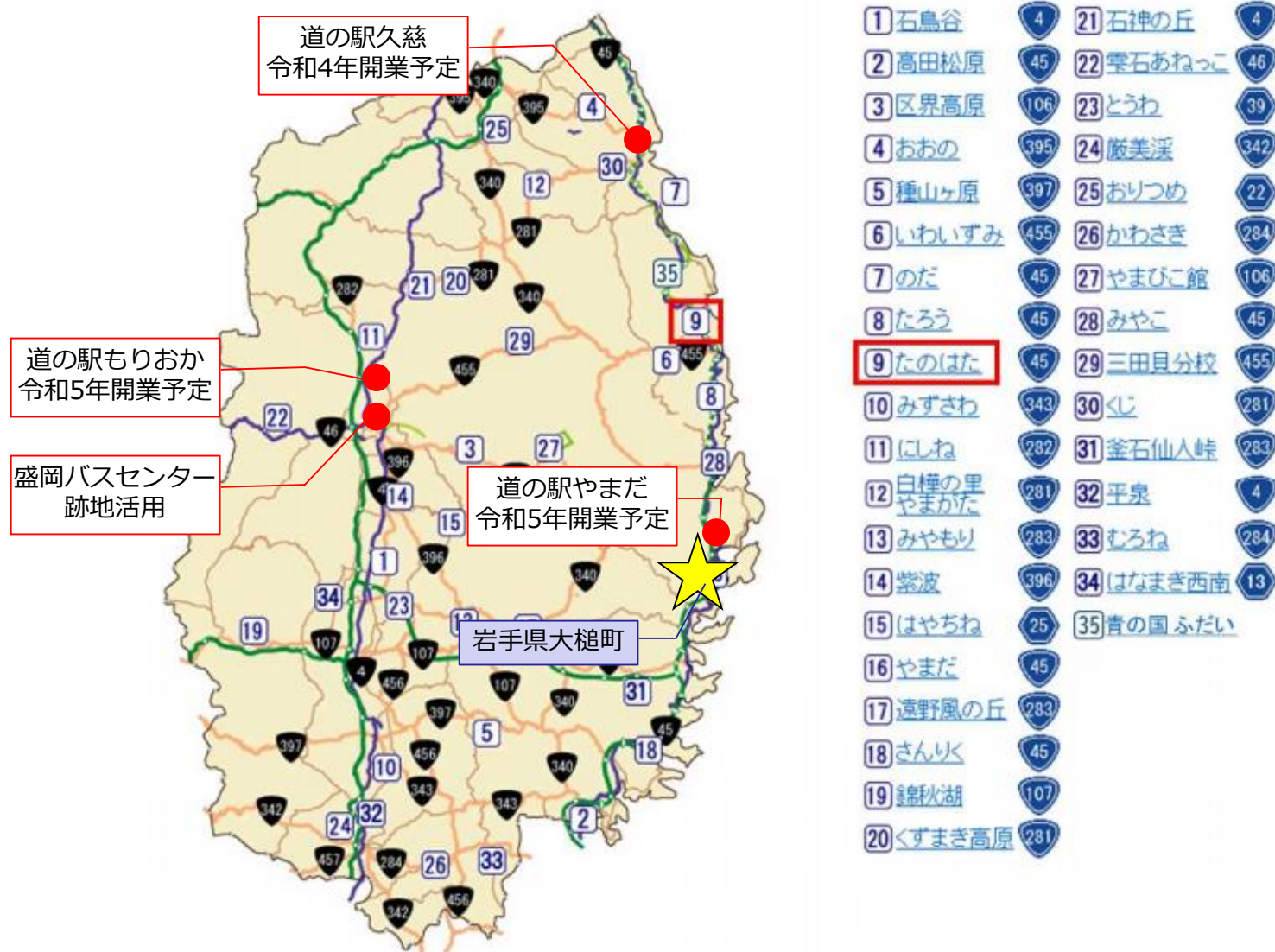
「道の駅」整備フロー





2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 一県内道の駅の概況一



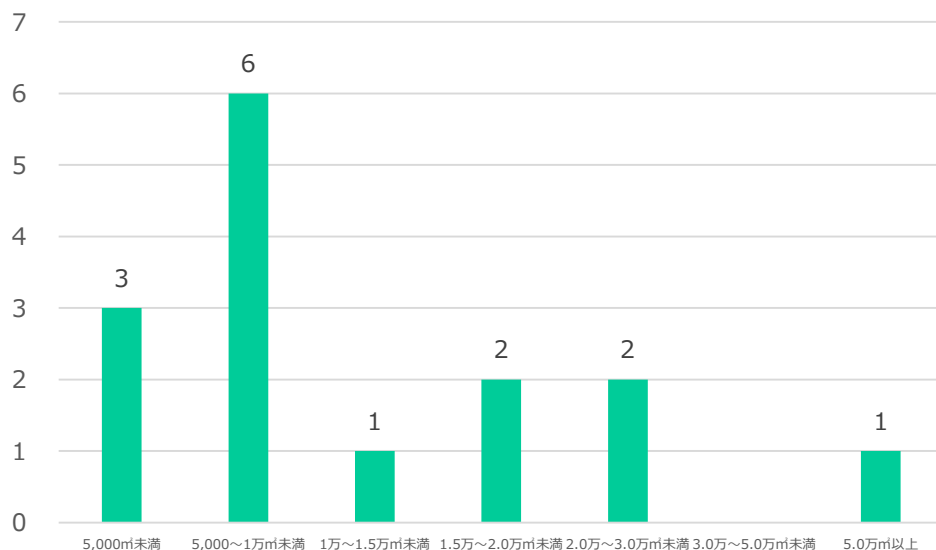


2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 —アンケート結果—

- 総面積別でみると、5,000～1万㎡未満の施設が6施設と最も多くなっています。
- 建物面積別では、500㎡、1,500～2,000㎡未満がそれぞれ4施設ずつと最も多くなっています。

総面積別 N=15

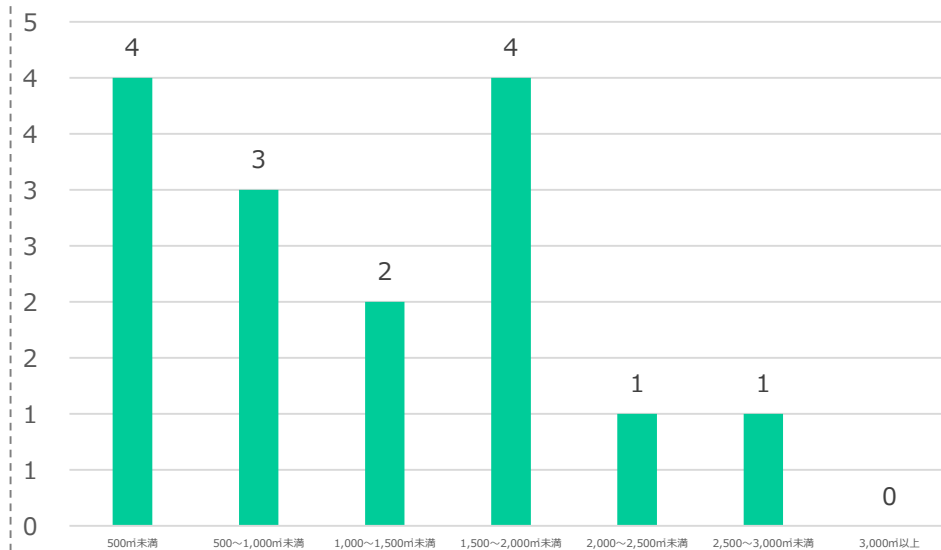


■ 単純集計 道の駅総面積 比較一覧

単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	5,000㎡未満	3	20.0%
2	5,000～1万㎡未満	6	40.0%
3	1万～1.5万㎡未満	1	6.7%
4	1.5万～2.0万㎡未満	2	13.3%
5	2.0万～3.0万㎡未満	2	13.3%
6	3.0万～5.0万㎡未満	0	0.0%
7	5.0万㎡以上	1	6.7%
合計		15	100%

建物面積別 N=15



■ 単純集計 道の駅建物総面積 比較一覧

単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	500㎡未満	4	26.7%
2	500～1,000㎡未満	3	20.0%
3	1,000～1,500㎡未満	2	13.3%
4	1,500～2,000㎡未満	4	26.7%
5	2,000～2,500㎡未満	1	6.7%
6	2,500～3,000㎡未満	1	6.7%
7	3,000㎡以上	0	0.0%
合計		15	100%

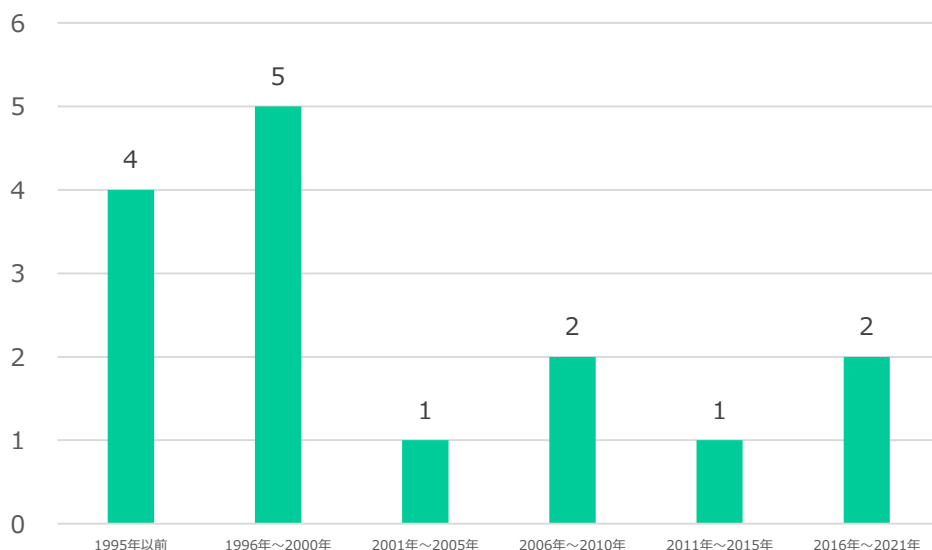


2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 —アンケート結果—

- アンケート回答に協力していただいた15施設について、開業年別では、1996年～2000年に設置されたところが5施設と最も多く、次いで1995年以前に設置されたところが4施設と続いています（20年以上経過した施設が7割）。
- 総事業費別でみると、1億円以上3億円未満のところが5施設と最も多く、次いで1億円未満が4施設で続いています。

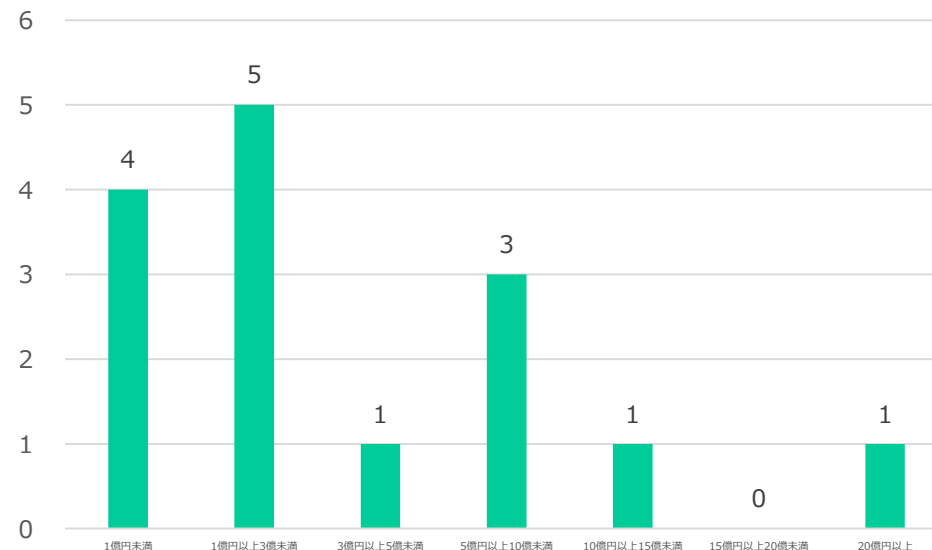
開業年別 構成比 N=15



■ 単純集計 回答道の駅開駅年度 比較一覧 単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	1995年以前	4	26.7%
2	1996年～2000年	5	33.3%
3	2001年～2005年	1	6.7%
4	2006年～2010年	2	13.3%
5	2011年～2015年	1	6.7%
6	2016年～2021年	2	13.3%
合計		15	100%

総事業別 構成比 N=15



■ 単純集計 道の駅総事業費金額 比較一覧 単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	1億円未満	4	26.7%
2	1億円以上3億円未満	5	33.3%
3	3億円以上5億円未満	1	6.7%
4	5億円以上10億円未満	3	20.0%
5	10億円以上15億円未満	1	6.7%
6	15億円以上20億円未満	0	0.0%
7	20億円以上	1	6.7%
合計		15	100%

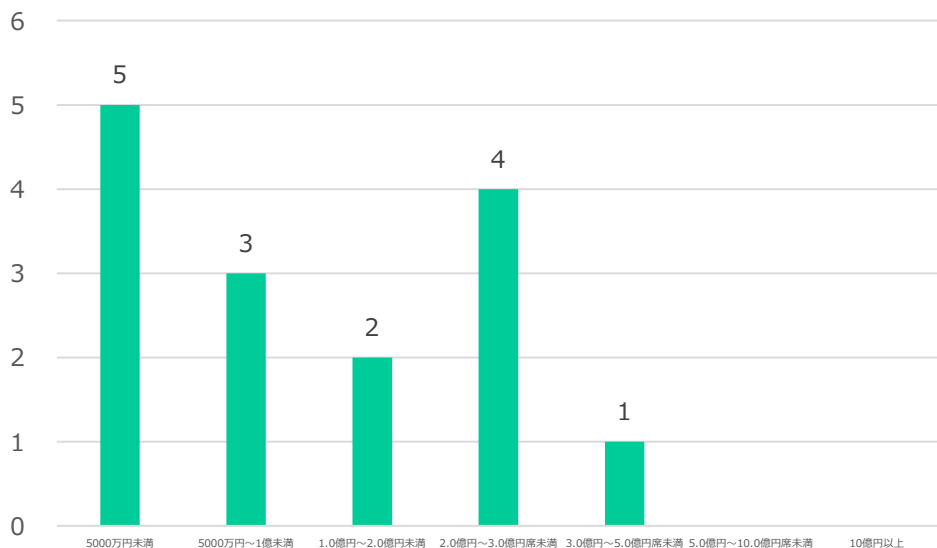


2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 —アンケート結果—

- 年間売上でみると、5,000万円未満が5施設と最も多く、次いで1億円未満が3施設と続いています。
- 来場者数別でみると20万人未満が8施設と最も多くなっています。

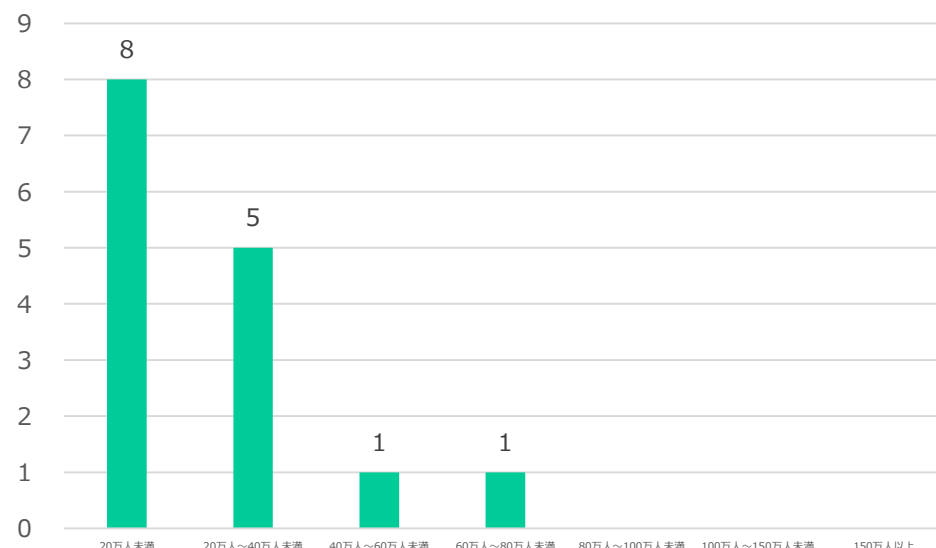
年間売上別 構成比 N=15



■ 単純集計 道の駅年間総売上 比較一覧 単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	5000万円未満	5	33.3%
2	5000万円～1億未満	3	20.0%
3	1.0億円～2.0億円未満	2	13.3%
4	2.0億円～3.0億円未満	4	26.7%
5	3.0億円～5.0億円未満	1	6.7%
6	5.0億円～10.0億円未満	0	0.0%
7	10億円以上	0	0.0%
合計		15	100%

来場者数別 構成比 N=15



■ 単純集計 道の駅年間立ち寄り人数 比較一覧 単位：件

No.	概要	実数	構成比
1	20万人未満	8	53.3%
2	20万人～40万人未満	5	33.3%
3	40万人～60万人未満	1	6.7%
4	60万人～80万人未満	1	6.7%
5	80万人～100万人未満	0	0.0%
6	100万人～150万人未満	0	0.0%
7	150万人以上	0	0.0%
合計		15	100%



2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会

県内 類似施設 運営概況 一周辺開発予定事例一覧

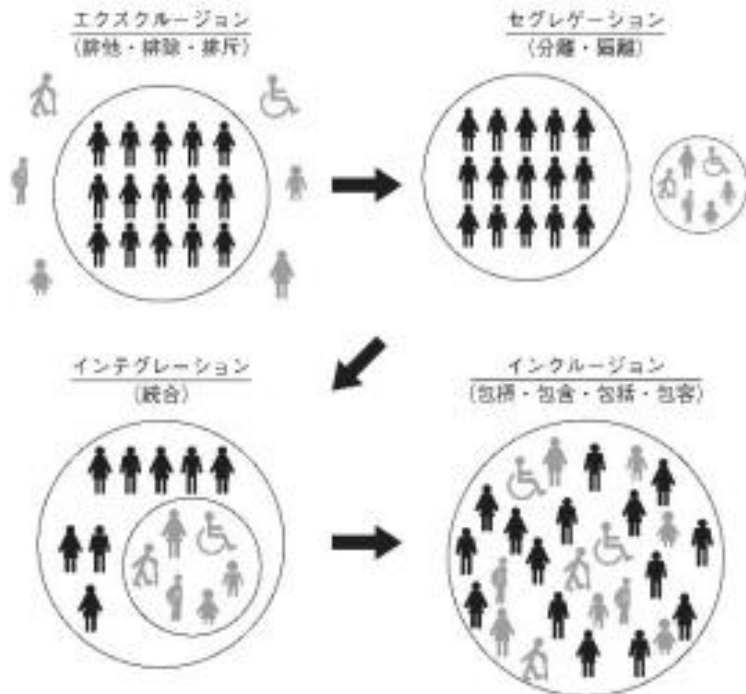
施設名	(仮称) 道の駅もりおか	(仮称) 新・道の駅やまだ (移転開業)	(仮称) 広域道の駅久慈	道の駅 たのはた	盛岡 バスセンター
位置	盛岡市(渋民)	山田IC	北久慈IC	田野畑	盛岡市
機能	物販・飲食・加工 情報発信 研修交流 イベントスペース等	物販・飲食・加工 体験・情報発信 イベントスペース BBQ等	物販・飲食・加工 情報発信 ヒーローコーナー キッズスペース等	物販・飲食・加工 情報発信 宿泊施設 イベント広場等	物販・飲食・加工 宿泊施設 温泉施設 情報交換施設等
敷地面積 建物面積	30,217m ² 1,429m ²	17,759m ² 1,614m ²	16,000m ² 2,250m ²	9,220m ² 1,100m ²	5,557m ² 5,421m ²
開業時期	令和5年度 目標	令和5年春 目標	令和6年度 工事着手	令和3年 4月 開業	令和5年度開業 予定
運営方式	指定管理	指定管理	DBO方式	指定管理	—
整備費	15.3億円	12.0億円	12.6億円	9.2億円	16.5億円

2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会 広場利活用差別化要素 インクルーシブ公園 ～概要～

- インクルーシブ（包括・包含）はインテグレーション（統合）の上位概念であり、様々なバックグラウンドをもつ個人を、社会の構成員として、枠組みを付けずに同等に扱うことを指しています。
- インクルーシブ公園の要素としては5点が挙げられ、それぞれの子供が同じように楽しむことを目指しています。

インクルーシブ公園とは

- インクルーシブとは英語のinclusion（包括・包含）の派生語であり、あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うという意味合いがある。



インクルーシブ公園の要素

インクルーシブ公園は、どんな子供でも同じように楽しめることを目的に設計された公園である。インクルーシブ公園の要素としては、以下の5点が挙げられる

①：公平にアクセスでき、自立して遊びに参加できる（アクセシビリティ）

②：自分の好きな遊びを見つけられる（選択肢）

③：遊びを通し相互理解が深まる（インクルージョン）

④：危険にさらされることなくのびのびと遊べる（安心・安全）

⑤：ワクワクしながら自らの世界を大きく広げられる（楽しさ）



2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会 広場利活用差別化要素 インクルーシブ公園 ～概要～

- インクルーシブ公園は2020年以降全国的に拡大しており、東京都ではガイドラインが発表されるなどノウハウの伝達も進んでいます。
- 利用者は小学生までのこどもを主にしつつ、様々な年代・バックグラウンドをもつ人を想定しています。

全国的な拡大

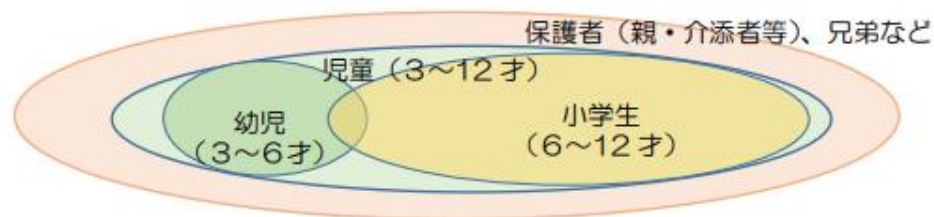
- 現在、日本各地でインクルーシブ公園を整備する計画が急速に進んでいる。東京都では、2021年6月に「だれもが遊べる児童遊具広場」整備のガイドラインが作成され、インクルーシブ公園設置のノウハウを各自治体にひろめる取り組みが行われている。

先進施設（一部抜粋）	エリア
都立砧公園	関東
米子市立弓ヶ浜公園	中国
国営昭和記念公園	関東
としまキッズパーク	関東
札幌市立藤野むくどり公園	北海道
一関市立 一関遊水地記念緑地公園	東北
藤沢市立秋葉台公園	関東
宮古市立 うみどり公園	東北

利用者ターゲット

- 利用者としては、年齢区分別の「こども」を中心とし、様々なバックグラウンドを持った利用者が想定される。
- それぞれの利用者にとって過ごしやすい環境を整備し、誰もが快適に楽しむことのできる公園づくりが目指されている。

年齢階層別 ターゲット



想定されるさまざまな利用者

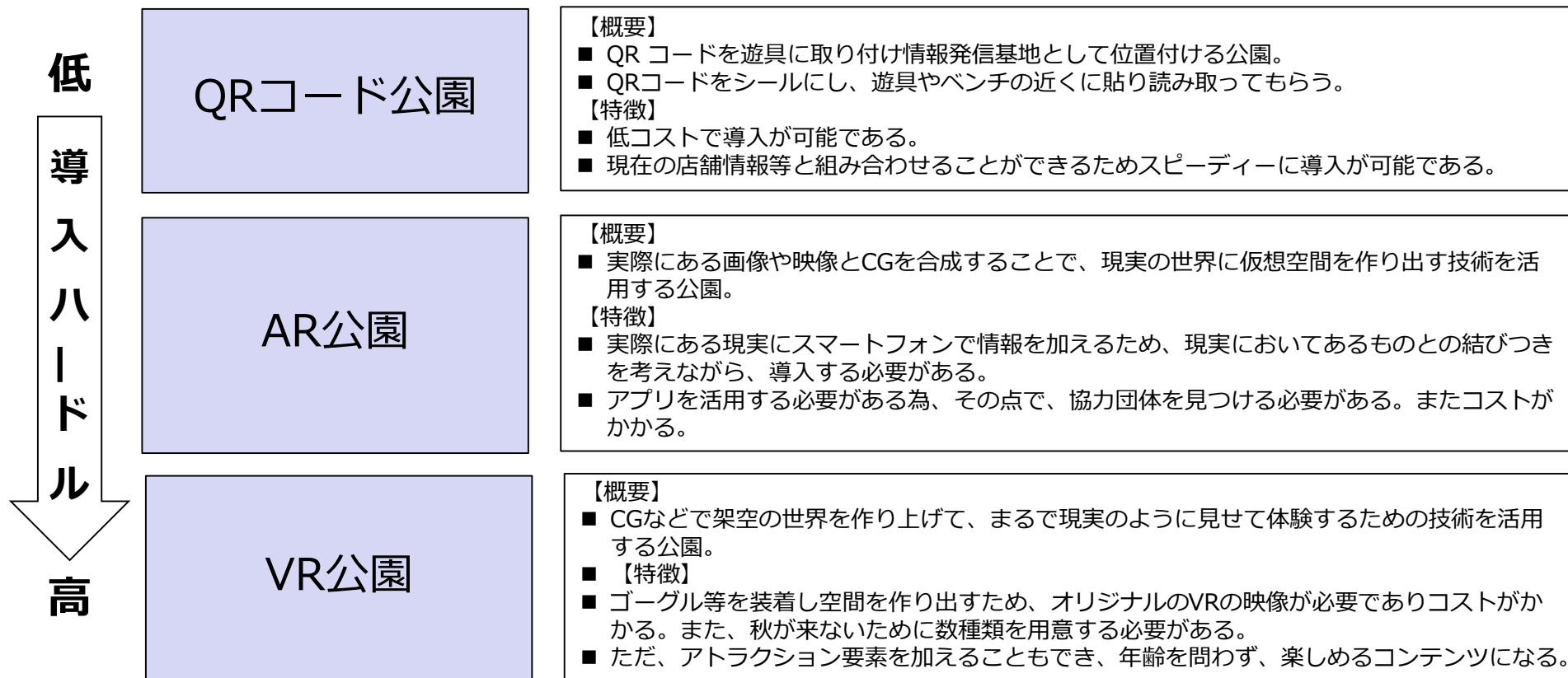
肢体不自由者	内部障害者
視覚・聴覚障害者	発達・精神障害者
妊産婦	乳幼児連れ
高齢者	外国人



2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会 広場利活用差別化要素 デジタル活用公園 ～概要～

- ICT活用した公園とはスマートフォンやIT技術を活用した公園を指しています。
- 導入に必要な物的資源、コスト・時間等を加味して有効と考えられる事例をタイプ別に「QRコード公園」「AR公園」「VR公園」に整理しています。

デジタルを活用した公園とは



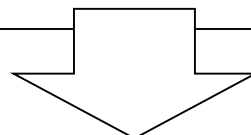


2. 各委員会の内容 (5) 第4回検討委員会 意見交換の結果

- 第4回の 意見交換の結果、現段階の跡地を取り巻く状況から判断し、、、
短期的には 最低限の投資を行い、地域内を中心とする利活用を行い、
長期的には、施設コンセプトを設定して本格的な整備を行い、地域内外の交流拠点を目指す という方向性が合意されました。

意見交換会の ポイント

- 近隣地域は道の駅の開発、リニューアルが多い状況である。
- それら新規、リニューアル後の施設の経営・運営状況を鑑みてから、整備については判断すべきである。
- また整備コストが10億円単位と大きい点も行財政を圧迫しないか懸念される。
- 大槌町に目を移すと、サーモンを含めて「大槌といえば〇〇」という素材が絞り切られていないことも重要である。
- 一方で、跡地は文教施設の集積度や三陸自動車道からのアクセスを考えると積極的に利活用していく方向が望ましい。
- 特に文教施設からのアクセスは優れており、子供たちの遊び場、待ち合わせ場所、さらに多世代の交流の場としての可能性は大きい。



短期的 方向性

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 【方向性】 | 子供たちの遊び場、待ち合わせの場、イベントの場所 |
| 【コスト面】 | 長期的な整備に道を残すために、最低限のコスト |
| 【利活用期間】 | 3年～5年 |
| 【将来像】 | 3年～5年後に再度、利活用に関する話し合いの場を設置・検討する。 |

長期的 方向性

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 【方向性】 | 大槌町における地域内外との交流拠点 |
| 【コスト面】 | 20年程度の長期にわたる活用を前提として抜本的な整備を行う |
| 【利活用期間】 | 20年～ |
| 【将来像】 | 大槌町の象徴するコンセプトを設定し、集客・交流コンテンツを備える |



2. 各委員会の内容 (6) 第5回検討委員会 会議次第

- 第3回検討委員会においては住民アンケート結果を踏まえたうえでの、各検討委員の意見の集約、特に重視された5分野におけるトレンドと町内での施設充足状況が共有され、今後の方向性が検討されました。

開催日時	令和3年 12月20日 月曜日 15:00～17:00
開催場所	大槌町役場 3階大会議室
テーマ	二段階開発の方向性 具体化の検討
検討内容	(1) 二段階開発の可能性について (2) おおつちまるごと復活まつり 結果確認 (3) 短期開発の可能性 (4) 長期開発の可能性
検討結果	1. 開発における近年のトレンドである多段階開発手法の共有 2. イベント利活用の事例としての おおつちまるごと復活まつりの成功と今後の可能性の共有・検討 3. 二段階開発における短期、長期の方向性についての協議・検討



2. 各委員会の内容 (6) 第5回検討委員会 多段階開発のトレンドについて

- 近年においてはまちづくりにおいてはこれまでの短期における統合的な計画による整備から、長期にわたる柔軟な整備へトレンドが変わりつつあります。
- 特に、官民連携の組織によるビジョンを先行させ、徐々に主体を変えながら行う段階的な開発手法が主流になりつつあります。

今後の方向性

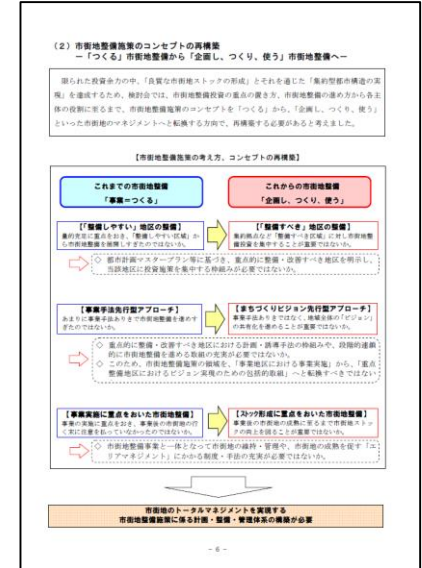
方向性 1. 施策・事業に向けた機運の醸成や合意形成などの初動期段階の取組

方向性 2. 段階的な・連鎖的な各種事業、施策の総合的展開などの事業期段階の取組

方向性 3. 整備後の市街地の適切な運営・管理を通じた持続的な市街地の質や価値の維持・向上



出典：国土交通省（2020）「今後の市街地整備の目指すべき方向」



段階的に市街地を修復・改善する息の長い市街地整備手法

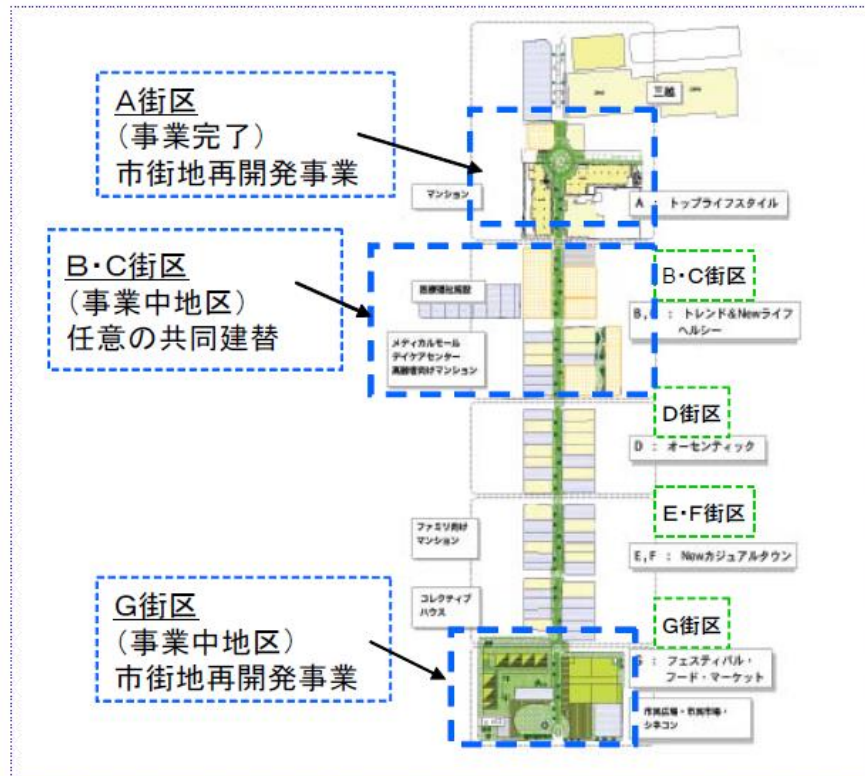
- ◇ 既成市街地においては、幹線道路など一定の基盤は整備されており、緊急的な整備は必要ないものの、地域主導で、市街地を改善する取組を講ずる動きのある地区も少なくない。
- ◇ また、重点的な整備・改善が必要な地区においても、地域のニーズ、財政状況や基盤整備状況によっては、多額の移転補償費を要する全面更新型の短期集中的な市街地整備を進めるよりも、移転補償を最小限にとどめつつ息長く市街地の整序を行うことが適している場合も多い。
- ◇ このような地区では、必要最低限の基盤整備と土地利用の整序を行う「修復型の区画整理」も有効であり、「柔らかい区画整理」の活用を促進することが重要。

2. 各委員会の内容 （6）第5回検討委員会 多段階開発のトレンドについて

- 例えば香川県丸亀市の商店街再開発においては、官民でビジョンを共有した後に街区を3つに区分けし、徐々に整備を進めています。
- また主体も行政、地域商店街、さらに出店するテナントの3者による整備が行われています。

【参考となる事例】

○市街地再開発事業と一体的に展開するエリアマネジメントの事例 （香川県高松市高松丸亀町商店街地区）



- ・南北約 470mの商店街の再開発を計画。
- ・地元の商店街振興組合が、地区をA～Gの7街区に分割し、地区全体と街区ごとの「デザインコード」、資金計画などの「事業プログラム」、ソフト事業と一体の「商業戦略」等を計画。
- ・合意形成が進んだ街区から事業着手し、事業完了後は地権者等が出資して設立したまちづくり会社が施設の維持管理・運営を実施。
- ・事業と併せエリアマネジメントを行うことにより、街の一体感が生まれ、賑わい・魅力ある商店街が形成。

2. 各委員会の内容 (6) 第5回検討委員会 おおつちまるごと復活まつり —イベントの様子—

- 短期利活用における一つの方向性として「イベント活用」が挙げられましたが、11月13日 商店街跡地を利用した大型イベントが開催され、盛況を博しました。
- 新聞等メディアも取材され、多くの利用者が集まりました。

岩手県民限定 産業まつり×郷土芸能×特産品販売×お楽しみ企画

おおつちまるごと復活まつり

11月13日(土) 9:00~14:00 雨天決行 荒天中止 福幸きらり商店街跡地

食べる!

お振舞い ひつまみ 500食限定

お振舞いのほか、お楽しみ企画も実施します。

和歌山県 愛媛県産 みかん特売!

見る!

メカジキ解体ショー

▶10:30~解体ショー
▶12:30~模擬競り&特売会

郷土芸能ステージ

▶9:00~オープニング
▶9:20~14:00まで 奇跡の13団体連続演奏!

楽しむ!

移動動物園 ふくろうカフェ

釣り堀&活魚販売

ホタテ釣り 200枚限定

木工体験教室

地元木材でイスや本などを作ろう!

ガラポンコーナー 1,000円/1回 高額商品あり!

●車検付き中古車1台
●マキタ超強力クリーナーなど

ほか、ハンドメイドグッズ・雑貨販売・各種体験コーナーなど楽しみたいばい。

主催/大槌町 共催/大槌商工会・大槌町観光交流協会
協賛/大槌町郷土芸能保存団体連合会
問い合わせ/大槌商工会 TEL 0193-42-2536
(一社)大槌町観光交流協会 TEL 0193-42-5121

▶新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止策を守って今年はやさぞ~!

第23回 産業まつり

出店業者・出展団体

飲食販売		物産販売	
大槌商工会女性部	ジャガバター・コーヒー	菓子工房 エルマーノ	菓子、和洋菓子
新おおつち漁協女性部	海賊鍋	小豆崎漁業(株)	いかの口っ子煮、さばみかつ
チャリカフェ	サーモンフライ(ケツサンド、チャリドッグ、焼き菓子、大福、ドリンク)	越田鮮魚店	冷凍加工品(イカの塩辛、銀鱈切身 他) 乾物のしのか、まき豆(他)
六串商店	ホヤから揚げ、生ビール 他 みそのおにぎり	だあすこ沿岸店	みかん(和歌山県・愛媛県産)
味方屋	パンダやき、たこやき、やきとり、フランクフルト	まこころ就労支援センター	密着ワイン、遠野ワイン、雑貨
産直つじの里グループ	おにぎり、ガレット、たこ焼き ドリンク(アルコールあり)		
よりみちそばみち	海鮮焼、冷凍海産物		
潮風堂	海鮮焼、冷凍海産物		
タイヨー株式会社	浜焼き(ホタテ、カキなど)		
たかのり海産	海産物・海鮮串		
村上商店	ポテト、から揚げ、チーズハットグ		
みよし菓子店	やきとり、クレープ、ポテト、フランク、かき、大福、チョコドーナツ、トピカリジュース		
大槌シビエーションプロジェクト	大槌鹿の串カツ ~焼酎仕立て~		
地域おこし協力隊	富士宮焼きそば、焼酎学園サーモン 写真展示、看板・ポスター・メニュー・グッズ		

体験・展示など

大槌商工会青年部	ガラポン
社会福祉法人 大槌町社会福祉協議会	高齢者疑似体験、車いす体験 各事業所の活動紹介 ※パネル展示
ナカサンカーゴ	活魚、釣り堀、ホタテ釣り
ふくろうカフェ	移動動物園
釜石地方林業振興協議会	木工体験教室
大槌町観光交流協会	アニメ特設ブース (町のマヨイガ、大槌かいくん 他)

雑貨販売

Malie Lanikai	ハンドメイド製品(マウス、エコバック等) ハワイアン・入道・俳句・俳句コーナー(無料)
SASAMO	ハンドメイドグッズ販売
Sourire Porter (開りあげ座)	オリジナルプリント・刺繍商品、ハンドメイドラフ・雑貨、ハンドメイド雑貨
小笠原建設	木工品
グランデビッコロ	アクセサリー

郷土芸能ステージスケジュール

●オープニング	9:00~9:10
●雁舞道七福神	9:20~9:40
●城内大神楽	9:40~10:00
●安渡虎舞	10:10~10:30
●日澤鹿子踊	10:35~10:55
●安渡大神楽	10:55~11:15
●向川原虎舞	11:15~11:35
●夕霧会	11:35~11:55
●中須賀大神楽	11:55~12:15
●陸中弁天虎舞	12:20~12:40
●上京鹿子踊	12:40~13:00
●吉里吉里大神楽	13:00~13:20
●城山虎舞	13:20~13:40
●金澤 神楽	13:40~14:00

●お問い合わせ
大槌商工会 TEL 0193-42-2536
(一社)大槌町観光交流協会 TEL 0193-42-5121

▶マスク着用・手指アルコール消毒・会場でのソーシャルディスタンス・会場マナーなどご協力をお願いします。

※当日、上記スケジュール・順番等が変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。



2. 各委員会の内容 （6）第5回検討委員会 おおつちまるごと復活まつり アンケート結果総評

1. イベントは成功裏に終わり、満足度も極めて高い。
2. 入場者は男女、年齢共に地域の年齢構成と一致しており、地域から一定数が訪れたイベントになっている。
3. 地域外からの来場も30%程度確認されており、今後も地域外からの来場が期待できる立地である点が確認された。
4. 満足度の高いイベントは、郷土芸能、メカジキ解体ショーなど地域色が高いもの、もしくは、中高生が中心になっているものが多い。
5. イベントの開催については、地域住民は強く望んでおり、跡地利活用の一つの方向性として期待されている。

2. 各委員会の内容 (6) 第5回検討委員会 短期利活用の方向性「非日常利用」と「日常利用」

短期的 方向性

【方向性】	子供たちの遊び場、待ち合わせの場、イベントの場所
【コスト面】	長期的な整備に道を残すために、最低限のコスト
【利活用期間】	3年～5年
【将来像】	3年～5年後に再度、利活用に関する話し合いの場を設置・検討する。

非日常（イベント）利用



- 跡地の広い敷地を活用し、大槌町のいくつかのイベントの開催場所として活用する。
- 先回行われた おおつちまるごと復活まつり が事例となり、住民からのニーズも高い。
- ただし、イベントの数は限られており、回数は限定的となる。

日常利用



- 文教地区である点を加味し、周辺地域の子供たちが行っている待ち合わせや交流の場として一部を機能させる。
- 規模に応じて投資規模が大きく変わってくる。
- 最低限の投資でもある程度の機能は発揮できるが、多世代間交流などは難しくなる。



2. 各委員会の内容 (6) 第5回検討委員会

短期利活用の方向性「非日常利用」と「日常利用」

短期的 方向性

【方向性】 子供たちの遊び場、待ち合わせの場、イベントの場所
 【コスト面】 長期的な整備に道を残すために、最低限のコスト
 【利活用期間】 3年～5年
 【将来像】 3年～5年後に再度、利活用に関する話し合いの場を設置・検討する。

イベント活用

■ 大槌町内において 跡地での開催が検討可能なイベント

No.	イベント名	事業実施主体	H31入込数	H30入込数	H29入込数
1	大槌町郷土芸能祭	町(生涯学習課)、団体	300人	300人	500人
2	おおつちありがとうロックフェスティバル2019	民間	3,500人	2,000人	2,000人
3	大槌まつり	民間	17,795人	17,500人	18,000人
4	産業まつり	商工会、町	2,000人	3,000人	—
5	三陸国際芸術祭	団体、町	300人	136人	
6	鮭まつり	町、協会、民間	5,700人	5,500人	5,000人
7	三陸コネクトフェスティバル	民間、行政	未計画	4,500人	2,000人
8	鮭文化祭	町、協会、民間、学園	—	—	791人



3. 今後の方向性 (1) 二段階開発の方向性

- 方向性については、短期・長期の両方向性が検討されました。
- 短期においては当初 5 年の軽微な整備を、長期においては 5 年後以降の再度の検討と大規模な開発が提案されました。

短期的 方向性	【方向性】 子供たちの遊び場、待ち合わせの場、イベントの場所 【コスト面】 長期的な整備に道を残すために、最低限のコスト 【利活用期間】 3年～5年 【将来像】 3年～5年後に再度、利活用に関する話し合いの場を設置・検討する。
長期的 方向性	【方向性】 大槌町における地域内外との交流拠点 【コスト面】 20年程度の長期にわたる活用を前提として抜本的な整備を行う 【利活用期間】 20年～ 【将来像】 大槌町の象徴するコンセプトを設定し、集客・交流コンテンツを備える



ステップ 1. 大槌町の魅力創造

目的 : 長期の検討を行う場合には、跡地のコンセプト設定が必要となる。
一方で、サーモン・文化事業を含めて、地域資源の磨きこみを行い、コンセプトに昇華できるように整える。

期間 : R04～R08年 の 5 年間

実行項目 : これまでに行ってきた事業を継続するとともに発展させる。
例えば、特産品開発やイベント開発を行い、施設開発まで行えるようにする。

ステップ 2. 利活用検討の継続

目的 : ある程度 地域資源の磨きこみが完了し、現在の短期利活用の結果が整った段階で次の利活用を検討する。

期間 : R09 1年間 方向性検討
R10 1年間 方向性に合致する事業者へのヒアリングと実現可能性の検討

実行 : 現在の検討委員会を再度 組織化し、利活用について継続審議を行う。
さらに実現可能性を高めるために、実際に施設を運営する事業者へのヒアリングを行う。

3. 今後の方向性 (2) 第一段階のアイデア提案 跡地利活用に必要となる魅力創造

ステップ1. 大槌町の魅力創造

目的 : 長期の検討を行う場合には、跡地のコンセプト設定が必要となる。
一方で、サーモン・文化事業を含めて、地域資源の磨きこみを行い、コンセプトに昇華できるように整える。

期間 : R04~R08年 の 5か年

実行項目 : これまでに行ってきた事業を継続するとともに発展させる。
例えば、特産品開発やイベント開発を行い、施設開発まで行えるようにする。

サーモン



- 日本水産との協業によって生まれた養殖サーモン。
- 現段階での収穫量は限定的であるが、今後は収量が増加する。
- イベント等を含めて展開可能な可能性がある。

文化事業



- 大槌町において古くから続く伝統的な芸能となっており、地域単位での展開が見られる。
- 今後は観光面の施策としても充実させることで地域外への発信資源として発展する可能性がある。

こどもイベント



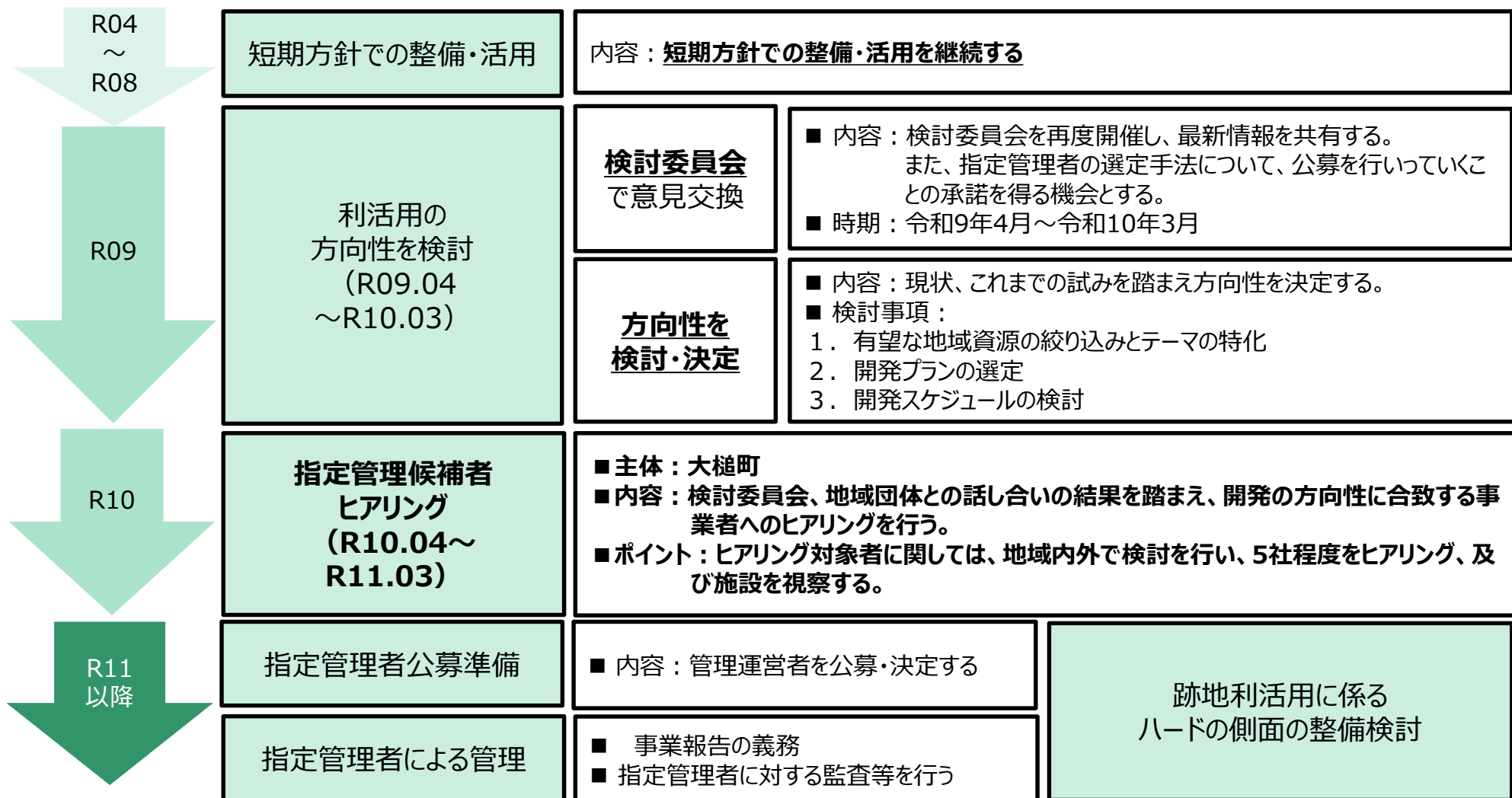
- 短期利活用においてもみられる子供の遊び場の提供は、町内の課題となっている。
- 多世代間の交流や子育てのしやすさなども踏まえ、施策を発展させられる可能性がある。

5年間で磨きこみを進め 跡地利活用テーマとして取り上げられるレベルに発展させる



3. 今後の方向性 (3) 第二段階のアイデア提案 跡地利活用の再検討と整備に向けた検討委員会の設定

- 地域資源の磨きこみが完了した後は、R09年度より再度跡地の利活用について検討を行います。
- 第一に、検討委員会を開催し方針を決定したあとは、実現可能性を高めるために実際に活動を行う事業者へのヒアリングを行います。





【別添資料】 検討委員会名簿

【委員長】 大槌商工会

【副委員長】 一般社団法人大槌町観光交流協会

【委員】 一般社団法人おらが大槌夢広場

北日本銀行

大槌学園PTA

岩手銀行

花巻農業協同組合

新おおつち漁業協同組合

大槌町郷土芸能保存団体連合会

沢山町内会

大槌保育会

大槌町産業振興課

村田 仁

平賀 聡

神谷 未生

櫻田 俊雅

高木 正基

照井 慎一

二本松 靖

平野 榮紀

三浦 文雄

八木澤 弓美子

岡本 克美